

平成 25 年度（福）ふじみ野福祉社会事業報告

法人理念

- ・ 利用者・家族・職員の 3 つの笑顔を大切に地域に根ざした施設づくり
- ・ 利用者の尊厳ある生活を守り継続する施設づくり「生存」から「生活」へ

運営方針

- ・ 制約をなくし、利用者の自己決定の尊重をサービス提供の視点とする
- ・ 高齢者の地域生活を支える拠点を目指す
- ・ 小中学校や地域の行事を通じて地域の人々と交流を図る
- ・ 第三者のサービス評価を受け、運営の改善に努める

今後、増々増える高齢者に対応できる法人に成長できるよう様々な事業を実施してきました。

法人本部においてはひだまりの庭むさしの内での包括、居宅事業の新設を検討し、開設に向けて管理課を中心に準備をした結果、平成 26 年 4 月より事業を開始することができるようになりました。

生活課においては 2 回目となる第三者サービス評価を受診しサービス内容の効果測定を行いました。地域課においては継続した在宅生活を送れることを意識したサービス提供、栄養課においては利用者さんが満足する食事を提供することができました。また、地域支援課においては地域密着型特別養護老人ホームと小規模多機能居宅介護の両事業を初めて 1 年間を通して安定的に実施することができました。

事業計画に対して残された課題はありましたが、法人本部、各課が下記の事業を実施してきましたのでここに報告します。

法人本部

総合目標及び課題

- ・ 諸事業の執行状況を確認しながら内部統制を実施します。

重点目標及び課題	成果等
(1) 両施設の健全な運営	① 両施設の運営にあたり、その都度、理事会・評議員会を開催し、議案の審議を図りました。 ② 経営についても補正等をその都度行い、健全な運営に努めました。

	理事 会	評 議 員 会	監 事 監 査	実 施 時 期	議 案
			○	5/22	・平成24年度(福)ふじみ野福祉社会事業報告・決算報告に対する監事監査
第1回	○	○		5/29	・ユニット和室改修工事の入札結果に伴う契約 ・(福)ふじみ野福祉社会第4次収支補正予算 ・(福)ふじみ野福祉社会3ヶ年計画事業報告 ・(福)ふじみ野福祉社会平成24年度事業報告及び決算報告 ・(福)ふじみ野福祉社会定款の一部改正
第2回	○	○		9/30	・(福)ふじみ野福祉社会就業規則一部改正 ・(福)ふじみ野福祉社会給与・退職金規程一部改正 ・(福)ふじみ野福祉社会パートタイマー・非常勤職員等の就業規則一部改正 ・(福)ふじみ野福祉社会第1次収支補正予算 ・地域密着型特別養護老人ホームむさしの管理者変更 ・平成25年度地域包括支援センター選定に係る応募 ・(福)ふじみ野福祉社会育児休業等に関する規則一部改正 ・(福)ふじみ野福祉社会介護休業に関する規則一部改正 ・埼玉県認知症グループホーム小規模多機能協議会入会
第3回	○	○		11/14	・(福)ふじみ野福祉社会理事・監事の選出 ・(福)ふじみ野福祉社会評議員の選出
第4回	○			12/12	・(福)ふじみ野福祉社会理事長の互選
第4回 第5回	○ ○	○		12/12	・(福)ふじみ野福祉社会第2次補正予算書
第5回 第6回	○ ○	○		1/17	・(福)ふじみ野福祉社会第3次補正予算書 ・(福)ふじみ野福祉社会定款一部改正 ・(福)ふじみ野福祉社会定款施行細則 ・(福)ふじみ野福祉社会理事長等の専決事項に関する定款細則一部改正 ・(福)ふじみ野福祉社会給与・退職金規程一部改正 ・(福)ふじみ野福祉社会組織規程一部改正

第6回 第7回	○ ○	○	2/27	<ul style="list-style-type: none"> ・地域包括支援センターひだまりの庭むさしの指定（許可）申請書の提出 ・地域包括支援センターひだまりの庭むさしの運営規程 ・介護予防支援利用契約書 ・介護予防支援ひだまりの庭むさしの重要事項説明書 ・支援センターひだまりの庭むさしの指定（許可）申請書の提出 ・支援センターひだまりの庭むさしの運営規程 ・居宅介護支援ひだまりの庭むさしの利用契約書 ・居宅介護支援ひだまりの庭むさしの重要事項説明書 ・(福)ふじみ野福祉会経理規定一部改正 ・(福)ふじみ野福祉会第4次補正予算書 ・建物総合維持管理の入札 ・紙おむつの入札 ・清拭布の入札 ・寝具の入札 ・介護保険システムハードー式の入札 ・介護保険システムソフトー式の入札 ・ひだまりの庭むさしの下水切替工事の入札 ・重要事項説明書の一部改正
第7回 第8回	○ ○	○	3/26	<ul style="list-style-type: none"> ・介護職員処遇改善手当の支給 ・(福)ふじみ野福祉会第5次補正予算書 ・建物総合維持管理の入札結果 ・紙おむつの入札結果 ・清拭布の入札結果 ・寝具の入札結果 ・介護保険システムハードー式の入札結果 ・介護保険システムソフトー式の入札結果 ・ひだまりの庭むさしの下水切替工事の入札結果 ・理事長等の専決事項に関する定款細則一部改正 ・(福)ふじみ野福祉会給与・退職金規程一部改正 ・(福)ふじみ野福祉会組織規程一部改正 ・(福)ふじみ野福祉会就業規則一部改正 ・(福)ふじみ野福祉会苦情解決実施要項一部改正 ・(福)ふじみ野福祉会再雇用職員就業規則一部改正 ・(福)ふじみ野福祉会消防計画一部改正 ・(福)ふじみ野福祉会印章規程一部改正 ・地域包括支援センターむさしの指定介護予防支援事業所運営規程一部改正

				<ul style="list-style-type: none"> ・介護予防支援むさしの重要事項説明書の一部改正 ・平成 26 年度事業計画及び予算書
--	--	--	--	---

管理課

総合目標及び課題

- ・両施設の事務の効率化及び収支現状を把握し、経営安定に努めます。

重点目標及び課題	成果等
(1) 本体施設及びひだまりの事務手続きの効率化	<ul style="list-style-type: none"> ① 入札すべき備品等については、本体施設に集中させて行うことにより事務の効率化を図りました。 ② 通常の備品の発注業務については、見積もりを依頼し、業務に支障の無いよう速やかに行いました。
(2) 人事及び労務の手続きと提出の効率化	<ul style="list-style-type: none"> ① 本体とひだまりの人事の手続きを行っていくにあたって、基本的にリアルタイムで行うこととしていましたが、迅速に行うことができませんでした。 ② 入職・退職の説明などは、できるだけマニュアル化し丁寧に説明していくことができました。
(3) 経理作業の効率化	<ul style="list-style-type: none"> ① 未払金については迅速な対応が出来たが、未収金については人事異動、集計方法の見直しを行った関係で時間がかかりました。 ② 会計報告期日についてもムラがあり、目標通りには行えませんでした。
(4) 衣類についている名前の確認	<ul style="list-style-type: none"> ① 洗濯した衣類は、利用者ごとにたたむことが出来ました。 ② 同じ名字、同じ名前の利用者は特に注意し、たたみ配布することが出来ました。

委員会

合同研修委員会

重点目標及び課題	成果等																																									
<p>(1) 法人内研修の実施</p>	<p>① 今年度は以下の通り、法人内研修を実施しました。</p> <table border="1" data-bbox="539 383 1410 1160"> <thead> <tr> <th data-bbox="539 383 759 427">対象職員</th> <th data-bbox="759 383 979 427">日付</th> <th data-bbox="979 383 1200 427">研修内容</th> <th data-bbox="1200 383 1410 427">研修場所</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="539 427 759 723" rowspan="6">指導・管理職員</td> <td data-bbox="759 427 979 472">7月24日</td> <td data-bbox="979 427 1200 472" rowspan="6">リーダー研修 (外部講師)</td> <td data-bbox="1200 427 1410 472" rowspan="6">むさしの</td> </tr> <tr> <td data-bbox="759 472 979 517">8月21日</td> </tr> <tr> <td data-bbox="759 517 979 562">9月18日</td> </tr> <tr> <td data-bbox="759 562 979 607">10月16日</td> </tr> <tr> <td data-bbox="759 607 979 651">11月18日</td> </tr> <tr> <td data-bbox="759 651 979 723">12月18日</td> </tr> <tr> <td data-bbox="539 723 759 768">法人全体</td> <td data-bbox="759 723 979 768">8月29日</td> <td data-bbox="979 723 1200 768">感染症</td> <td data-bbox="1200 723 1410 768">むさしの</td> </tr> <tr> <td data-bbox="539 768 759 813">法人全体</td> <td data-bbox="759 768 979 813">9月25日</td> <td data-bbox="979 768 1200 813">感染症</td> <td data-bbox="1200 768 1410 813">ひだまり</td> </tr> <tr> <td data-bbox="539 813 759 857">法人全体</td> <td data-bbox="759 813 979 857">12月3日</td> <td data-bbox="979 813 1200 857">事故防止</td> <td data-bbox="1200 813 1410 857">ひだまり</td> </tr> <tr> <td data-bbox="539 857 759 902">法人全体</td> <td data-bbox="759 857 979 902">12月9日</td> <td data-bbox="979 857 1200 902">事故防止</td> <td data-bbox="1200 857 1410 902">むさしの</td> </tr> <tr> <td data-bbox="539 902 759 947">法人全体</td> <td data-bbox="759 902 979 947">2月25日</td> <td data-bbox="979 902 1200 947">事故防止</td> <td data-bbox="1200 902 1410 947">むさしの</td> </tr> <tr> <td data-bbox="539 947 759 992">法人全体</td> <td data-bbox="759 947 979 992">2月27日</td> <td data-bbox="979 947 1200 992">事故防止</td> <td data-bbox="1200 947 1410 992">ひだまり</td> </tr> <tr> <td data-bbox="539 992 759 1037">法人全体</td> <td data-bbox="759 992 979 1037">3月16日</td> <td data-bbox="979 992 1200 1037">身体拘束ゼロを 継続するために (外部講師)</td> <td data-bbox="1200 992 1410 1037">むさしの</td> </tr> </tbody> </table>	対象職員	日付	研修内容	研修場所	指導・管理職員	7月24日	リーダー研修 (外部講師)	むさしの	8月21日	9月18日	10月16日	11月18日	12月18日	法人全体	8月29日	感染症	むさしの	法人全体	9月25日	感染症	ひだまり	法人全体	12月3日	事故防止	ひだまり	法人全体	12月9日	事故防止	むさしの	法人全体	2月25日	事故防止	むさしの	法人全体	2月27日	事故防止	ひだまり	法人全体	3月16日	身体拘束ゼロを 継続するために (外部講師)	むさしの
	対象職員	日付	研修内容	研修場所																																						
	指導・管理職員	7月24日	リーダー研修 (外部講師)	むさしの																																						
		8月21日																																								
		9月18日																																								
		10月16日																																								
		11月18日																																								
		12月18日																																								
	法人全体	8月29日	感染症	むさしの																																						
	法人全体	9月25日	感染症	ひだまり																																						
法人全体	12月3日	事故防止	ひだまり																																							
法人全体	12月9日	事故防止	むさしの																																							
法人全体	2月25日	事故防止	むさしの																																							
法人全体	2月27日	事故防止	ひだまり																																							
法人全体	3月16日	身体拘束ゼロを 継続するために (外部講師)	むさしの																																							
(2) 新任職員への研修	<p>① 新任職員については、入職時に施設長研修を実施しました。その後、各課・セクションにてOJTをもとに、対一にて業務指導を行いました。</p>																																									
(3) 各課・セクションごとの研修	<p>① 各課・事業毎に、外部・内部研修を実施しました。外部研修については、比較的多くの職員が参加できましたが、内部研修については予定通り実施できない部分もあり、次年度課題として取り組んでいきます。</p>																																									
(4) 研修の運営・調整	<p>① 研修前に、起案書にて内部決裁を実施しましたが、資料貼付をすることが不十分でした。</p> <p>② 研修後のアンケートについて、内容の見直しまで取り組むことができませんでしたので、今後の課題となります。</p>																																									

広報委員会

重点目標及び課題	成果等
(1) 法人の特色・内容を盛り込んだ広報誌の作成	① 2施設における季節や行事ごとの特色を盛り込んだ広報誌を作成することができました。 ② 写真撮影の機会は増やせたように思います。今後も継続して良い記事ができるように、写真撮影の機会を増やしていきます。
(2) 広報誌の見直し	① レイアウトについては試行錯誤をしましたが、紙面に限りはありますが、もう少し内容を盛り込むことができたのではないかと考察していますので、次年度に生かしていきます。

防災委員会

重点目標及び課題	成果等
(1) 防災訓練の実施	① 利用者の生命と身体の安全を最優先に不足の災害に対応するよう毎月計画を立て、消火、避難訓練、緊急に備えた心肺蘇生法をひだまり合同で行いまいが、2月は救急隊が災害時対応で来れなくなったため中止になり、4月に行う予定です。 ② 地域合同防災訓練は、9月29日（日）に東日本大震災後当施設の職員が東松島市へボランティアに行ったことにより、東松島市生活復興支援センター所長片岡君江氏に「東日本大震災から学ぶ」と訓練テーマで、震災当日のビデオを見た後、講演をしていただき、南畑第5町会の皆さん、参加した職員皆感動し、あらためて地震、津波等の怖さを感じました。
(2) 防災訓練への全職員の参加及び、職員への周知の徹底	① 皆が参加できるよう早めに計画を立て、各課に役割を指示し、直前に声かけをし、担当者の確認、打ち合わせをするようにしました。 ② ひだまりができてからは本体と同じように消火訓練等計画を立てて行い、実施内容によっては合同で行うようにしました。

	実施日	訓練内容	参加者
1	4/12	消火訓練（消火器）ひだまり	職員・利用者 8 名
	4/15	消火訓練（消火器）むさしの	職員・利用者 20 名
2	5/5	災害時訓練（停電）ひだまり	職員・利用者 74 名
	5/12	災害時訓練（停電）むさしの	職員・利用者 100 名
3	6/19	避難訓練（消火・避難・通報）ひだまり	職員・利用者 30 名

	6/24	避難訓練（消火・避難・通報）むさしの	職員・利用者 50 名
4	7/7	通報訓練（火災報知機・火災通報専用機） むさしの・ひだまり	職員 11 名 業者 4 名
5	8/16	夜間訓練（消火・避難・通報） むさしの	職員・利用者 20 名
6	9/29	地域合同防災訓練 （東日本大震災に学ぶ） むさしの	職員 16 名 地域の皆さん 64 名
7	10/18	夜間訓練（消火・避難・通報）ひだまり	職員・利用者 12 名
8	10/31	消火訓練（消火用散水栓）	職員 5 名
9	2/12	応急訓練 合同 （心肺蘇生・AED 使用法）	消防署より当日になり中止
10	2/14	避難訓練（消火・避難・通報）むさしの	職員・利用者 50 名
11	3/5	応急訓練 合同（心肺蘇生・AED 使用法）	職員 17 名

衛生委員会

重点目標及び課題	成果等
(1) 感染症予防	① 職員、面会者等にいつもより早めにマスクの着用を始め、うがい、手洗いをお願いし、感染予防に努めました。
(2) 産業医による指導	① 産業医による指導を行っていましたが、毎月衛生委員会を行うよう監査指導があり、1 月より毎月行うようにしました。
(3) 施設内における感染症対策マニュアルの見直し及び実施	① 毎年流行が懸念されているノロウイルス、インフルエンザも世間ではニュースになって大変でしたが、当施設では、特に発生しませんでした。 ② 委員会を通じてマニュアルを再度し、その場になってあわてないように、基本的なことは皆が対応できるよう周知に努めました。

生活課

総合目標及び課題

- ・ 接遇を意識して、やさしく丁寧な介護サービスを提供します。
- ・ 余暇等の楽しみのある生活を提供します。

介護

重点目標及び課題	成果等
(1) 個別ケアの充実	① 担当職員によるケース会議を通して、個別ケアの見直しや変更を実施することができましたが、対応の遅れや周知不足があり内容の充実に至らない点もありました。利用者の変化に対して迅速な対応を実践することにより、ケア内容の充実に努めていきます。
(2) 統一した介護サービス支援の提供	① サービス提供内容の周知・確認を実施しましたが、対応の徹底ができず職員によってばらつきが出てしまいました。業務中の職員同士のコミュニケーションが不足している場面もあり、事故に繋がってしまったケースもありました。安全確保を第一に掲げ、事業の周知・職員同士の連携強化を図っていきます。
(3) 余暇活動実施に向けての取り組み	① 映像を使用したストレッチや体操を実施しましたが、フロアーによって実施状況の偏りが生じてしまい、十分な余暇活動の提供ができませんでした。余暇活動実施への体制を整え、活動時間の拡大を目指して取り組んでいきます。
(4) 接遇の共通認識	① 昨年度から計画を継続した効果もあり、接遇への意識が芽生え、丁寧な接遇を実践できる場面が多くなりました。挨拶においてはおじぎの仕方等、真摯に向き合う姿勢が不十分でした。また、職員同士での指摘や確認を行う機会が少なかったため、次年度は更なる共通認識を持ち実践していきます。

(5) 年間諸行事

	行事名	内容	対象者	実施場所
4月	お花見	1階デイサービス前のテラスにてお茶菓子を召し上がりながらお花見を実施。	2、3階利用者	1階 テラス
4/26	行事食	昼食時にお寿司を召し上げる。	2、3階利用者	各ユニット
5/3	端午の節句	手作り鯉のぼりを作成。	2階 利用者	各ユニット
5/3	端午の節句	季節の歌を唄い、兜を被って写真撮影を実施。	3階利用者	中央ホール
5/28	行事食	昼食時に鶏飯弁当を召し上げる。	2、3階利用者	各ユニット

6/10	ユニット行事	アイスクリームに好きなものをトッピングして、おやつ時に召し上がる。	3階きり	きり ユニット
6/12	ユニット行事	アイスクリームに好きなものをトッピングして、おやつ時に召し上がる。	3階さくら	さくら ユニット
6/12	行事食	昼食時に握り寿司と稲荷寿司を召し上がる。	2、3階利用者	各ユニット
6/13	ユニット行事	アイスクリームに好きなものをトッピングして、おやつ時に召し上がる。	3階もみじ	もみじ ユニット
6/21	ユニット行事	おやつ時にかき氷を召し上がる。	2階利用者	中央ホール
7/5	七夕行事	短冊を作成し、ボールを使用した運動を実施。	2階利用者	中央ホール
7/5	七夕行事	短冊を作成し、スイカ割りを実施。	3階利用者	中央ホール
7/8	行事食	昼食時に七夕行事食を召し上がり、季節感を感じて頂く。	2、3階利用者	各ユニット
7/27	納涼祭	太鼓やお神輿、職員余興を楽しむ。夕食は行事食を召し上がる。	2、3階利用者	施設敷地内
8/7	ユニット行事	パンを生地から作成し、召し上がる。	3階利用者	さくらユニット
8/16	ユニット行事	プリン・ア・ラ・モードを作り、おやつ時に召し上がる。	2階ゆり	ゆりユニット
8/19	ユニット 行事	野沢菜のお焼きを作りおやつ時に召し上がる。	2階ふじ	ふじ ユニット
8/20	行事食	昼食時に助六弁当を召し上がる。	2、3階利用者	各ユニット
8/29	ユニット行事	漬物を作り、昼食時に召し上がる。	2階きく	きくユニット
9/5	行事食	昼食時にお寿司を召し上がる。	2、3階利用者	各ユニット
9/14	長寿の祝いの 会	ご家族にも参加頂き、年寿者のお祝いを実施。今回、100歳のお祝いの方が2名いらっしゃいました。 昼食は祝い膳として、豪華な食事を召し上がる。	2、3階 利用者	各中央ホール 各ユニット
9/18	月見団子行事	中秋の名月に合わせお月見団子を作成。	2、3階 利用者	2階中央ホール
10/7	芋煮会	新米や山形風の芋煮を昼食時に召し上がる。旬のさんまも炭火で焼き召し上がる。	2階 利用者	各ユニット
10/8	芋煮会	新米や山形風の芋煮を昼食時に召し上がる。旬のさんまも炭火で焼き召し上	3階 利用者	各ユニット

		がる。		
10/23	行事食	昼食時にお寿司を召し上がる。	2、3階利用者	各ユニット
10/30	フロアー行事	うどん粉をこねる作業から取り掛かり、出来上がったうどんを昼食時に召し上がる。	2階利用者	ふじユニット
11/5	行事食	昼食時に助六弁当を召し上がる。	2、3階利用者	各ユニット
11/19	鍋行事	昼食時に鶏すき焼きを召し上がる。	2階ふじ	ふじユニット
11/20	鍋行事	昼食時に寄せ鍋（塩）を召し上がる。	2階きく	きくユニット
11/21	鍋行事	昼食時にほうとうを召し上がる。	2階ゆり	ゆりユニット
11/27	鍋行事	昼食時に寄せ鍋（醤油）を召し上がる。	3階きり	きりユニット
11/28	鍋行事	昼食時にとんこつ風味の鍋を召し上がる。	3階さくら	さくらユニット
11/29	鍋行事	昼食時に石狩鍋を召し上がる。	3階もみじ	もみじユニット
12/12	行事食	昼食時にお寿司を召し上がる。	2、3階利用者	各ユニット
12/15	もちつき行事	もちつきの実施、見学を行い、昼食時に召し上がる。	2、3階利用者	各階中央ホール
12/25	クリスマス	昼食時に豪華な食事を召し上がる。	2、3階利用者	各ユニット
1/1～ 1/3	お正月	おせち等のお正月メニューを召し上がり、お正月気分を味わって頂く。	2、3階利用者	各ユニット
1/11	新年会	職員余興やボランティアの催し物をご家族と楽しみ、新年のおめでたい気分を味わう。	2、3階利用者	各階中央ホール
2/3	節分行事	職員が鬼に変装し、豆まきを行い、季節を感じて頂く。 昼食は通常メニューとは違う行事食を召し上がる。	2、3階利用者	各階中央ホール
2/7	お好み焼き行事	昼食時にお好み焼きを召し上がる。	2、3階利用者	各ユニット
2/25	行事食	昼食時にお寿司を召し上がる。	2、3階利用者	各ユニット
3/3	雛祭り行事	節句の歌を唄い、雛壇の前で写真撮影を行う。おやつ時に甘酒を召し上がる。	2階利用者	中央ホール 各ユニット
3/3	雛祭り行事	節句の歌や絆纏を着用し、写真撮影を行う。	3階利用者	中央ホール
3/18	行事食	昼食時にお寿司を召し上がる。	2、3階利用者	各ユニット

看護

重点目標及び課題	成果等																								
(1) 日常生活の管理	<p>① バイタル測定・食事量の把握・排泄のチェックを随時行い、また、介護職員からの情報を密にすることにより、個々の健康状態の把握に努めることができました。</p> <p>② 状態の変化にも早めに気づくことができ、迅速な対応ができたと思います。そのため、入院日数については、昨年度に比べ大幅に減少する結果となりました。</p> <div data-bbox="497 593 1380 1086"> <h3 style="text-align: center;">延べ入院日数</h3> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>延べ入院日数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>21年度</td> <td>504</td> </tr> <tr> <td>22年度</td> <td>635</td> </tr> <tr> <td>23年度</td> <td>489</td> </tr> <tr> <td>24年度</td> <td>662</td> </tr> <tr> <td>25年度</td> <td>533</td> </tr> </tbody> </table> </div> <div data-bbox="497 1108 1359 1624"> <h3 style="text-align: center;">延べ入院者数</h3> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>延べ入院者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>21年度</td> <td>30</td> </tr> <tr> <td>22年度</td> <td>31</td> </tr> <tr> <td>23年度</td> <td>28</td> </tr> <tr> <td>24年度</td> <td>30</td> </tr> <tr> <td>25年度</td> <td>26</td> </tr> </tbody> </table> </div>	年度	延べ入院日数	21年度	504	22年度	635	23年度	489	24年度	662	25年度	533	年度	延べ入院者数	21年度	30	22年度	31	23年度	28	24年度	30	25年度	26
年度	延べ入院日数																								
21年度	504																								
22年度	635																								
23年度	489																								
24年度	662																								
25年度	533																								
年度	延べ入院者数																								
21年度	30																								
22年度	31																								
23年度	28																								
24年度	30																								
25年度	26																								
(2) 他職種との連携	<p>① 引き継ぎ書や口頭での申し送りにより、職員との情報の共有化に努めましたが、個人差も生じ、うまく伝わらないことも多くみられました。</p> <p>② 食事については、各セクションとの連携もとれ、個々にあった食事提供をすることができたと思います。</p> <p>③ 相談員への報告は、随時行うことができ、お互いに情報交換をすることもできたと思います。</p>																								

<p>(3) 薬剤・投薬の適切な管理</p>	<p>① 処方薬の確認は、薬がきた時点で行い、間違いがないように努めることができました。</p> <p>② 常に間違いが起こらないように、薬の整理・整頓を行いました。</p> <p>③ ダブルチェックは行っていましたが、配薬時・内服時の誤薬がありました。誤薬がなくなるよう対応していきたいと思います。</p>
<p>(4) 職員への医療教育</p>	<p>① 入職時の研修を行うことはできましたが、短時間での研修になっている為、その後のフォロー体制の必要性を感じました。</p> <p>② 救急対応・看取りについての研修等を行うことができませんでした。今後、介護・看護ともに共通認識がもて、実際の場面での対応がスムーズにできるように研修等行っていきたいと思います。</p>

相談

重点目標及び課題	成果等																																																																																				
<p>(1) 特養入所の稼働率の維持・向上のための取り組み</p>	<p>① 年間平均稼働率は 97.3%となり、稼働率の目標達成に至りませんでした。空床期間を少なくするため、各関係機関及びご家族との調整は積極的に実施しましたが、死亡退所者に対する待機者の安定した確保が継続的に実施できなかったことが一つの要因としてあげられます。</p> <p>加えて、退所から次の入所までの空床期間は、144 日間あり、前年度に比べ増加しています。一方、入院者による延べ空床日数は 533 日間（延べ人数 26 名）と、昨年度に比べ減少している。しかし、空床数全体を見ると、大きく稼働率の減少に影響している。</p> <table border="1" data-bbox="502 1344 1412 2016"> <thead> <tr> <th>退所者</th> <th>退所年月日</th> <th>理由</th> <th>入所者</th> <th>入所年月日</th> <th>判定会議</th> <th>空床期間</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>H25.4.26</td> <td>死亡</td> <td>1</td> <td>H25.5.1</td> <td>H25.3.25</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td></td> <td></td> <td>2</td> <td>H25.5.16</td> <td>措置入所</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>H25.6.14</td> <td>死亡</td> <td>3</td> <td></td> <td></td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>H25.7.9</td> <td>長期入院</td> <td>4</td> <td>H25.7.10</td> <td>H24.5.18</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>H25.7.27</td> <td>長期入院</td> <td>5</td> <td>H25.8.6</td> <td>H25.5.31</td> <td>9</td> </tr> <tr> <td>6</td> <td>H25.9.3</td> <td>死亡</td> <td>6</td> <td>H25.9.12</td> <td>H25.5.31</td> <td>8</td> </tr> <tr> <td>7</td> <td>H25.10.7</td> <td>死亡</td> <td>7</td> <td>H25.10.16</td> <td>H25.5.31</td> <td>8</td> </tr> <tr> <td>8</td> <td>H25.11.7</td> <td>死亡</td> <td>8</td> <td>H25.11.15</td> <td>H25.5.31</td> <td>7</td> </tr> <tr> <td>9</td> <td>H25.11.16</td> <td>死亡</td> <td>9</td> <td>H25.11.29</td> <td>H25.9.9</td> <td>12</td> </tr> <tr> <td>10</td> <td>H25.11.28</td> <td>死亡(看取り)</td> <td>10</td> <td>H25.12.6</td> <td>H25.5.31</td> <td>7</td> </tr> <tr> <td>11</td> <td>H25.12.6</td> <td>死亡</td> <td>11</td> <td>H25.12.24</td> <td>H25.9.9</td> <td>17</td> </tr> </tbody> </table>	退所者	退所年月日	理由	入所者	入所年月日	判定会議	空床期間	1	H25.4.26	死亡	1	H25.5.1	H25.3.25	4	2			2	H25.5.16	措置入所	0	3	H25.6.14	死亡	3			0	4	H25.7.9	長期入院	4	H25.7.10	H24.5.18	0	5	H25.7.27	長期入院	5	H25.8.6	H25.5.31	9	6	H25.9.3	死亡	6	H25.9.12	H25.5.31	8	7	H25.10.7	死亡	7	H25.10.16	H25.5.31	8	8	H25.11.7	死亡	8	H25.11.15	H25.5.31	7	9	H25.11.16	死亡	9	H25.11.29	H25.9.9	12	10	H25.11.28	死亡(看取り)	10	H25.12.6	H25.5.31	7	11	H25.12.6	死亡	11	H25.12.24	H25.9.9	17
退所者	退所年月日	理由	入所者	入所年月日	判定会議	空床期間																																																																															
1	H25.4.26	死亡	1	H25.5.1	H25.3.25	4																																																																															
2			2	H25.5.16	措置入所	0																																																																															
3	H25.6.14	死亡	3			0																																																																															
4	H25.7.9	長期入院	4	H25.7.10	H24.5.18	0																																																																															
5	H25.7.27	長期入院	5	H25.8.6	H25.5.31	9																																																																															
6	H25.9.3	死亡	6	H25.9.12	H25.5.31	8																																																																															
7	H25.10.7	死亡	7	H25.10.16	H25.5.31	8																																																																															
8	H25.11.7	死亡	8	H25.11.15	H25.5.31	7																																																																															
9	H25.11.16	死亡	9	H25.11.29	H25.9.9	12																																																																															
10	H25.11.28	死亡(看取り)	10	H25.12.6	H25.5.31	7																																																																															
11	H25.12.6	死亡	11	H25.12.24	H25.9.9	17																																																																															

12	H25.12.17	死亡	12	H25.12.26	H25.12.20	8
13	H26.1.11	死亡	13	H26.1.20	H25.12.20	8
14	H26.1.25	死亡(看取り)	14	H26.1.26	H25.12.20	0
15	H26.2.3	死亡(看取り)	15	H26.3.1	H26.2.17	25
16	H26.2.10	死亡	16	H26.3.10	H26.1.17	27
17	H26.3.12	死亡	17	H26.3.17	H26.3.14	4
退所者総数 16 名		入所者総数 16 名		空床期間合計 144 日		

(2) 入退所の迅速な支援と対応

- ② 入所指針に基づき、今年度は6回入所検討委員会を開催しました。待機者の確保に努めるも、死亡退所及び長期入院者の退所が続き、安定した待機者確保に苦慮し、その結果空床期間が大幅に増加しました。また、監査での指摘もあり、新規入所申込者に対する順位付けを入所検討委員会内にて確定し、通知書をもってご本人・ご家族へお知らせしております。
- ③ 入院者に対しては、入院先の病院との連絡及び情報共有を行い、早期退院と退院後のフォロー体制の充実に努めました。時間が許す限り病院へ面会に行き、医師・看護師と情報交換をすることで退院への支援を行いました。また、ご家族と病院、施設3者での積極的なムンテラを行い、病状説明を受ける中で、疑問や不安の解消努めました。
- ① 入所決定者に対しては、事前に重要事項説明書等を活用し、安心して入所ができるように支援を実施しました。準備の段階でご利用者・ご家族が不安になることが予測されるため、書面を渡し、口頭で説明することで不安を取り除くようにしました。また、入所前にコミュニケーションを十分に図り信頼の構築に努めました。

(3) 短期入所生活介護の稼働率の維持・向上のための取り組み

- ① 年間平均稼働率は92.8%となり、目標の達成には至りませんでした。新規利用者の獲得を行うも、継続利用及び定期利用の獲得にまで至らなかったことが、稼働率の低下に繋がったと考えられます。定期的に居宅介護支援事業者へ営業活動の実施を行いました。各利用者の日数増加につながらず、大幅な稼働率の低下になりました。今後は魅力的な施設を目指し、信頼されるような活動を実施していきます。

月	実人員(人)	延べ日数(日)	利用率(%)
4	33	440	104.8
5	31	457	105.3
6	33	407	96.9
7	37	446	102.8

8	32	386	88.9
9	28	351	83.6
10	33	422	97.2
11	29	397	94.5
12	32	380	87.6
1	28	325	74.9
2	28	327	83.4
3	33	405	93.3
計	377	4743	
平均	31.4	395.2	92.8

(4) 相談援助技術の向上

② 新規利用者に関しては、契約及び面接時に重要事項説明書を用いて、定期利用者についてはご家族・居宅介護支援事業所と密に連絡を取り合うことにより、その方のニーズに最大限応えられるように取り組みました。ご利用者・ご家族のニーズの明確化を行うことも重要と考え、短期入所サービス計画書を利用ごとに作成し、できる限りご家族に情報提供（介護明細等）を実施し、信頼の構築に努めました。今以上に施設サービスの差別化を図り、継続利用につなげていけるように努めます。

③ 新規利用者に関しては 33 名の受入れを実施しています。緊急性の高い方の打診に関しても、柔軟に対応し受け入れを実施しました。ご家族や居宅介護支援事業所からの急な依頼には、常に利用者の立場で不安や心配を取り除くことを念頭に調整を行いました。

① ご利用者・ご家族及び相談者のニーズをいち早く察知するコミュニケーション能力の構築に努めました。

② ご利用者及びご家族の立場に立ち、相談に対する満足度向上のために、情報提供と説明責任を積極的に行いました。ニーズによっては、直接足を運び、丁寧かつ真摯に対応を実施しました。受容的・共感的な態度にて相談援助を行い、加えて積極的に各職種間の協働による援助の構築に努めました。

(5) 社会資源を活用したボランティアの受入

① 今年度は定期のボランティアグループの他、新規での受け入れは行えませんでした。定期でのボランティアに対しては、こちらから継続的に依頼を行い、積極的に実施をしました。また、ボランティア保険の加入を実施し、安心して活動ができるよう支援を行っております。

クラブ名	活動回数（回）	延べ人数（名）
カラオケクラブ	12（新年会）	46

音楽クラブ	8	8
大正琴クラブ	9	33
お茶クラブ	12	58
エレキクラブ	4	27
直利会	4	43
傾聴ボランティア	32	84
ハーフトーンズ	3	18
白百合会	6	25
江戸芸かっぽれ	5	32
明るい社会づくりの会	10	80
生活支援ボランティア	38	38
大井チンドン座	1（納涼祭）	12
踊り 和田グループ	1（納涼祭）	10
富士見太鼓	1（納涼祭）	21
社協学生ボランティア	1（納涼祭）	2
合計	147回	537名

(6) 利用者・家族・施設間の円滑な支援と調整

- ② ボランティアの皆様には活動終了後に、活動報告書への記入を実施し、ボランティア時の状況及び反省、次回への課題を把握するようにしました。それにより、ご利用者やボランティアの方々にとって有効な活動になっているか、問題が生じていないかを検討することができました。平成 25 年度 3 月には「ボランティア感謝の集い」を開催し、22 団体・81 名の参加がありました（内特養ボランティア 38 名の参加）。各団体及び個人のボランティアの皆様の親睦と活動に対する感謝を込めて開催をしました。
- ① 常に利用者状況の的確な把握に努め、ご利用者・ご家族に対して、適切に対応することに努めてました。施設での生活状況をこまめに伝えるなど信頼関係の構築に取り組みました。また、支援経過については、記録に残す作業を積極的に実施しました。
- ② ご利用者やご家族からの相談や苦情に対しては内容の把握に努め、主訴が何かを傾聴し、正確な情報提供を行うことに努めました。時には専門的な部分になるため、わかりやすく資料を用いて説明を行いました。家族への働きかけとして、迅速な情報提供を行い、早期対応を心掛けました。

リハビリ

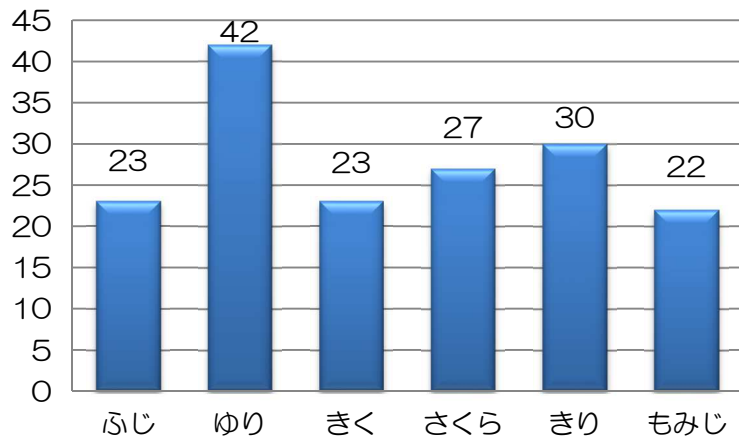
重点目標及び課題	成果等
<p>(1) 生活リハビリの充実 (自力動作可能な方)</p>	<p>① プログラムの見直し、訓練室外でのリハビリプログラムの検討・作成は全利用者に対して行えませんでした。リハビリ実施者以外の利用者の日常生活動作等を評価することができなかつたためです。</p> <p>② 作成した利用者のプログラムを職員に周知することができませんでした。リハビリと介護のコミュニケーション不足が原因であると考えています。また、利用者自身が図や説明書きにて、理解し実施できる方が限られ、実施に至りませんでした。</p>
<p>(2) 個別リハビリの充実 (自力動作困難な方)</p>	<p>① 現在のプログラムから日常実施可能なプログラムの抜粋ではなく、日常生活の中で実施可能な内容のプログラムの作成を行いました。全利用者に対しては実施できませんでした。利用者個々の一日の生活の流れが把握できていなかったことが原因です。また、現在のプログラムからの抜粋を行うには、ある程度の知識・技術が必要となり、それを職員に理解してもらうための準備が不十分でした。</p>
<p>(3) 拘縮防止</p>	<p>① 利用者に合わせた車椅子の選択を行うことはできましたが、なぜその車椅子を使用し、その利用者が使用するにあたり何に気を付けなければならないか、という周知ができていませんでした。また、使い方についても、新しい職員への指導が行えていませんでした。</p> <p>② 拘縮の強い利用者のポジショニングや座位について、数名の居室に貼り出してみましたが、なぜそのように使用するのか目的が周知できず、継続することができませんでした。</p> <p>③ 体幹や四肢への触れ方の知識や技術を周知することができず、拘縮予防につなぐことができませんでした。</p>

委員会

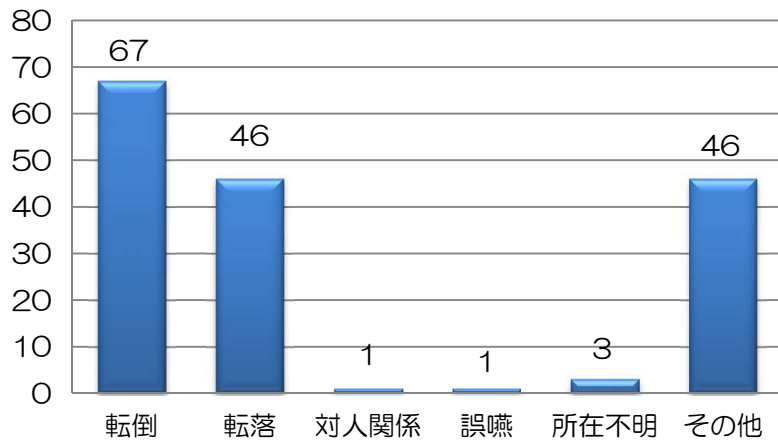
安全委員会

重点目標及び課題	成果等																																				
<p>(1) ヒヤリハット報告への取り組み</p>	<p>① 毎月の報告・まとめは適切に行いました。ホワイトボードを用いて、事故予防についても職員へ周知を行いました。</p> <p>事故報告件数については、ここ数年ほどは変わりありません。今年度は、転倒件数が昨年より20件減少し、一方骨折等の事故が増加しました。</p> <div data-bbox="518 548 1340 1086"> <h3 style="text-align: center;">年間事故報告件数</h3> <table border="1"> <caption>年間事故報告件数</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>件数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>22年度</td> <td>176</td> </tr> <tr> <td>23年度</td> <td>165</td> </tr> <tr> <td>24年度</td> <td>167</td> </tr> <tr> <td>25年度</td> <td>164</td> </tr> </tbody> </table> </div> <div data-bbox="518 1108 1340 1713"> <h3 style="text-align: center;">月別事故報告件数</h3> <table border="1"> <caption>月別事故報告件数</caption> <thead> <tr> <th>月</th> <th>件数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>4月</td> <td>12</td> </tr> <tr> <td>5月</td> <td>14</td> </tr> <tr> <td>6月</td> <td>20</td> </tr> <tr> <td>7月</td> <td>17</td> </tr> <tr> <td>8月</td> <td>7</td> </tr> <tr> <td>9月</td> <td>13</td> </tr> <tr> <td>10月</td> <td>21</td> </tr> <tr> <td>11月</td> <td>15</td> </tr> <tr> <td>12月</td> <td>9</td> </tr> <tr> <td>1月</td> <td>14</td> </tr> <tr> <td>2月</td> <td>8</td> </tr> <tr> <td>3月</td> <td>14</td> </tr> </tbody> </table> </div>	年度	件数	22年度	176	23年度	165	24年度	167	25年度	164	月	件数	4月	12	5月	14	6月	20	7月	17	8月	7	9月	13	10月	21	11月	15	12月	9	1月	14	2月	8	3月	14
年度	件数																																				
22年度	176																																				
23年度	165																																				
24年度	167																																				
25年度	164																																				
月	件数																																				
4月	12																																				
5月	14																																				
6月	20																																				
7月	17																																				
8月	7																																				
9月	13																																				
10月	21																																				
11月	15																																				
12月	9																																				
1月	14																																				
2月	8																																				
3月	14																																				

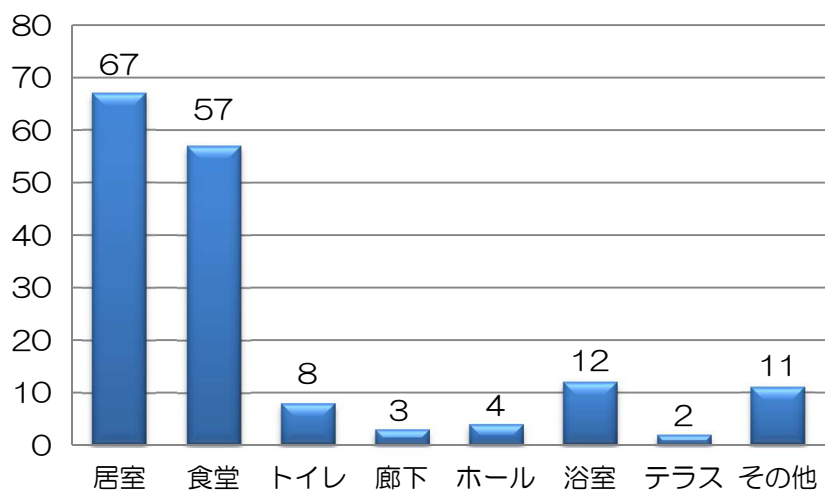
エリア別事故報告件数



事故別報告件数



発生場所別報告件数



<p>(2) 離床センサーの番号、数、使用している利用者等の状況の把握の徹底</p> <p>(3) 除圧マットレスの使用者の把握</p>	<p>② ヒヤリハット作成者の確認欄について、全ての担当者の記入後に確認する作業を、職員全体がまだ把握できていない状況に加え、委員からも声掛けが遅くなることがありました。</p> <p>① 各階での使用状況は把握できていましたが、状況の見直しについて行うことが不十分でした。一方、ショートステイ利用者の使用についてはしっかりと把握ができました。</p> <p>① 一覧表にしてホワイトボードに掲示はしていたものの、変更後すみやかに訂正できなかった職員も多々いました。また、担当階ではない利用者に関しては把握しきれていない部分がありました。</p>
--	---

排泄委員会

重点目標及び課題	成果等
(1) 自然排便・排便サポートへの取り組み	① 食事委員会と会議で話しあう機会がもてず、排便サポートへの取り組みが実施できませんでした。次年度の課題として取り組んでいきます。
(2) 環境整備	<p>① 16時半排泄終了後、しっかりとトイレ掃除が行えました。また、大トイレにトイレ掃除マニュアル表を掲示し職員への周知に取り組みました。</p> <p>② 排泄バケツについて、汚れが付着している物もあり環境整備としては不十分な点もありました。</p>
(3) 職員のスキル向上	① テーナアドバイザーによる研修を予定していましたが、日程調整が難航し、昨年度は1度しか実施することができませんでした。次年度はより多く研修が開催できるように連絡を密に行い、日程調整をしていきます。

入浴委員会

重点目標及び課題	成果等
(1) 利用者が選択できる入浴への取り組み	① 利用者の状況や体調に合わせた入浴方法を、職員間で随時話し合い実施することができました。
(2) 安全な入浴支援への取り組み	<p>① 他施設における入浴介助中の事故報告があった時には事故内容を職員に周知し、安全への意識を繋げることができました。入浴介助の際は職員間での声掛けを徹底し、一人での介助が困難な場合は安全を第一に考え対応を実施してきました。</p> <p>② 体調不良で状態変化があった方は医務や介護職員と相談し、入浴日を変</p>

<p>(3) 快適な入浴環境の整備</p>	<p>更し負担のない入浴支援を行いました。</p> <p>① 利用者1人1人が快適に入浴できるよう、備品不足・破損状況をしっかり把握し早急な修理依頼を実施しました。</p>
<p>(4) 感染症対策</p>	<p>① 職員全体に周知することができませんでした。マニュアルを各階に置き再度マニュアルを参照してもらうよう声掛けすると共に、周知方法の対策を次年度の課題として取り組んでいきます。</p>

食事委員会

重点目標及び課題	成果等
<p>(1) 誤嚥マニュアルの整備</p>	<p>① 今年度の食事委員会で看護職員や管理栄養士と話し合いを重ね、ある程度の形まで整備することができました。次年度は職員の周知方法を検討し、マニュアルを実行に移していきます。</p>
<p>(2) 自然排便・排便コントロールの実施</p>	<p>① 今年度も継続してヤクルト提供を行いましたが、実際に個別的な排便コントロールや排泄委員会との連携等は不十分でした。今後の課題として取り組みます。</p>
<p>(3) 食事内容の充実</p>	<p>① 栄養課を中心に行事食等を提供することができました。次年度はさらに嗜好調査や利用者懇談会にて出た意見を吸い上げて、食事内容に反映できるようにしていきます。</p>
<p>(4) 利用者個々にあった食事の提供</p>	<p>① ケース会議や状態変化等での食事形態の変更はスムーズに実施することができました。しかし、職員が食事変更に対応できていない場面もあったため、周知方法の検討を課題として取り組んでいきます。</p>

整容委員会

重点目標及び課題	成果等
(1) 個人用アルコール消毒ボトルの携帯の徹底	① 入職された職員に個人用アルコール消毒ボトルを配布し、携帯することの意識付けを行いました。個々に携帯し使用している様子はあまり見られませんでしたが、次年度の課題として、取り組みます。
(2) リネン伝票の記入方法の周知	① 伝票の記入忘れ・未提出が多く見られていました。来年度は忘れずに行えるようにわかりやすく周知していきます。
(3) 次亜鉛素酸希釈液ペットボトルの定期交換	① 次亜塩素酸希釈液のペットボトル交換は定期的に行うことができました。 ② 次亜塩素酸希釈液は、作成担当の職員を決めて週に1回作り直しを行い、濃度や効果維持に努めることができました。

身体拘束廃止に向けての検討委員会

重点目標及び課題	成果等
(1) マニュアル作成	① 個人に合わせたベッド柵の使い方や、居室のベッド位置を各居室へ貼り出しました。しかし、利用者の変化により変更となった方や新規利用者の貼り出しについては実施できませんでした。 ② 今年度は言葉による拘束に取り組むことができなかったため、次年度に実施していきます。
(2) 認知症ケアを学ぶ	① 認知症ケアの研修には2回参加しましたが、委員全員の参加はできませんでした。また、認知症ケアについて外部講師を招いての研修は実施できませんでした。身体拘束ゼロを継続するための研修は開催することができました。こちらは外部講師を招き、全職員を対象に行いました。
(3) 理念周知、体制強化	① 新入職員への理念周知やマニュアルの使い方についての研修等の実施できませんでした。 ② 完成しているマニュアルの使い方は朝礼等で委員が何度か話をしましたが、あまり活用されてはいない状況でした。また、どこまでが拘束なのか統一されていないため、職員間で拘束を発見した時の声掛け等ができる環境作りは、次年度の課題となります。 ③ 身体拘束はいけないことと理解はしているが、全職員で拘束とは何か統一されていないため、取り組むことができませんでした。

地域課

総合目標及び課題

- ・5つの地域課事業の特色を活かし、通期の方々が在宅での生活を楽しく過ごせる為の支援をします。

デイサービスセンター

重点目標及び課題	成果等																		
(1) 利用率の維持・向上のための取り組み	<p>① 全体稼働率については77.8%と目標の81%を3.2パーセント下回る結果となりました。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>24年度</th> <th>25年度</th> <th></th> <th>24年度</th> <th>25年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>年間稼働日数</td> <td>308日</td> <td>308日</td> <td>延日数 月平均</td> <td>512, 1</td> <td>499, 1</td> </tr> <tr> <td>年間利用延日数</td> <td>6146日</td> <td>5990日</td> <td>利用率 平均</td> <td>79.8%</td> <td>77.8%</td> </tr> </tbody> </table> <p>月単位で見れば、5月84.7%、10月83.4%と目標を超えましたが、それをピークとして下降しました。</p> <p>大きな要因として春口（6名）、秋口（6名）の新規獲得以外はほとんど新規利用者がいないこと及び、今まで稼働率に大きく貢献していた利用者がショートや入所へと利用形態が変わり始めたことが挙げられます。</p> <p>年間を通してのバランスの良い新規利用者の獲得を目指し、居宅事業所への今までとは違うアプローチの工夫やデイでの更なる活動活性化を図り現利用者の利用率を高めることが課題となります。</p>		24年度	25年度		24年度	25年度	年間稼働日数	308日	308日	延日数 月平均	512, 1	499, 1	年間利用延日数	6146日	5990日	利用率 平均	79.8%	77.8%
	24年度	25年度		24年度	25年度														
年間稼働日数	308日	308日	延日数 月平均	512, 1	499, 1														
年間利用延日数	6146日	5990日	利用率 平均	79.8%	77.8%														
(2) 質の高い相談援助サービス業務	<p>① 余暇・趣味活動アンケートを実施し、現在行なっている活動からやってみたい活動までを確認することで、現状の把握と改善点の掘り起こしを行ないました。一時的なものではなく、継続的な個別対応を実施し満足度を上げていくことが課題です。</p> <p>② 個別のケアプランに沿った支援活動をしていくには現場の職員がプランを把握していくことが必要です。プランを立てる相談員と実施する現場との連携はまだ不十分でした。プラン・実行・モニタリングの流れに沿った支援がなかなかできていないのが現状です。</p>																		
(3) 医療・機能訓練	<p>① 医務研修（バイタルサインを通しての健康状態の把握）やOJT（医務知識や技術指導）を通して介護職の知識向上に努めました。</p> <p>感染症予防対策として、利用者・職員は手洗い・うがいを励行しました。トイレ清掃や汚物処理もこまめに実施し、ハイター希釈液をその都度噴霧するように努めました。</p> <p>② 皮膚疾患（褥瘡や带状疱疹など）に関しては、ちょっとした気づきから</p>																		

<p>(4) 刺激的な職場作り</p>	<p>の早期発見・早期治療を心掛けましたが、まだまだ意識が希薄で報告・連絡がないことがありました。その都度指示を出し、更なる意識向上に向けた継続的アプローチが課題です。</p> <p>③ 生活リハビリ（お盆・コップ洗い、テーブル拭きなど）へのこまめな声掛けや皆で出来ることを一緒に取り組むうちに、自主的に取り組む利用者が次第に増えました。職員の都合により自主性が左右されないよう、継続して行なえる環境作りが課題として残っています。</p> <p>④ 相談員と協力し、最新の薬表を揃えました。検索も簡潔にできるよう個別のファイルを用意し業務の効率を図りました。</p> <p>① 会議のみならず、普段の会話の中から気兼ねなく新たな提案ができるよう積極的な意見交換を図りました。一つの事案にも様々な意見があり、聞くことは出来ても迅速な対応ができないこともありました。無駄な提案にならぬよう会議などを通して必ず検討する機会を設けることが今後の課題です。</p> <p>② 整理整頓やあいさつなどの共通目標を1週間ごとに上げ、大切なことを一つひとつ意識付けし、積み上げていくことを目指しましたが、何かしらの目標を立てることだけが目的となってしまう、その意義を浸透させ、意識付けするまでにはいきませんでした。</p> <p>③ 今年も実習生の受け入れを実施しました。実習生の何気ない質問から考えさせられることも多く、指導を通して業務を振り返る良い機会となりました。</p> <p>他施設からの職員見学も受け入れ、お互いの苦労や創意工夫などで意見交換をしました。他施設への研修は予定を組むも天候不順や施設事情により実施できませんでしたが、26年4月に予定が組まれています。</p>
<p>(5) リスクマネジメントの重要性</p>	<p>① 事故にはつながらなくても、ヒヤットしたこと、ハットしたことを報告し、事前対応することで事故予防・安全確保につなげていくリスク管理がまだまだできていません。要因として、報告することによる利点よりも不利点（責任を負う）を考え、報告を戸惑ってしまうことが挙げられます。些細なことでも報告し、リスクマネジメントできる意識向上と環境整備が課題となります。</p>
<p>(6) 年間行事計画</p>	<p>① 職員の提案やボランティアの協力を得て趣味活動やクラブ活動の多様化を図りました。職員企画によるボンボンマスコットや小物入れ作り、笑いヨガクラブや折り紙クラブなど新たな活動も始めました。</p> <p>どの利用者も時間を持て余すことなく充実した時間を過ごし利用満足度</p>

	を上げるには、まだまだ改善の余地があります。個別にも全体でも楽しめる更なる企画の充実が課題となっています。
--	---

◎25年度ボランティア実施記録

※25年度ボランティア 個人・団体数 19 (24年度 16)

年間延べ人数 435人 (24年度 354人)

	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
習字クラブ	1	1	2	2	2	1	1						10
花クラブ	4	4	4	4		4	4	4	4	4	4	4	44
絵手紙クラブ	1	1	1	1	1	1	1	1	1			1	10
お茶クラブ	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	60
傾聴	8	8	8	8	8	8	5	5	8	8	8	8	90
花咲先生 歌謡ショー			4			4			4				12
ハーモニ カクラブ		10				6			8				24
うづき会 (日本舞 踊)		6				8					8		22
オカリナ			10			9			15				34
白百合の 会		5		6		5		5		5		5	31
朗らか歌 仲間				5					4				9
ハッピー バンド						6							6
ハッピー ガールズ					2		2		2		2		8
フラダン ス	8												8
以下新規													
笑いヨガ					1	1	2	3	2		2	2	13

折紙クラ ブ			5	5	5	5	5			5	4		34
大道芸			7										7
編み物									4	1	3	2	10
マジック ショー						3							3
延べ人数	27	40	46	36	24	66	25	23	57	28	36	27	435

◎季節感を大事にした行事を実施し、皆様で楽しみました。

月	行事	内容・目的
4	お花見 ピクニック	満開時には、びん沼川沿いにて花見をしました。 月後半には南畑城址公園へお弁当を持ち、ピクニックに出かけ、春を満喫しました。
5	春の運動会	玉入れや綱回し、シーツボール落とし等を行い、参加賞のプレゼントを贈呈しました。
6	外食行事 すたみな太郎	お肉や麺類、サラダなど、好きなものを選ぶビュッフェスタイルで食事を楽しみながら、会話も弾みました。
7	むさしの寿司	カウンターで職員が握る寿司を注文し寿司屋の雰囲気を楽しみました。
8	かき氷	つぶあんやバニラアイスなどをトッピングしたイチゴ・メロン・レモン・カルピス味のかき氷を提供し、夏の涼を感じました。
9	長寿を祝う会	ボランティア演芸（ハーモニカ・うづき会・フジミハッピーバンド・花咲歌謡ショー・オカリナ）を楽しみ、節目の利用者にはプレゼントを贈呈しました。
10・ 11	日帰り旅行 川越	川越プリンスホテルで食事をしアグレッッシュ川越で野菜などの買い物を楽しみました。
12	クリスマス会	ボランティア演芸（朗らか歌仲間・オカリナ・ハッピーガールズ・ハーモニカ・花咲歌謡ショー）を楽しみ、クリスマスプレゼントを贈呈しました。
12月 15日	もちつき会	利用者17名・家族18名参加。 3回餅をつく。きな粉・あんこ・のり・からみにて提供する。余興にてカラオケやビンゴを楽しみました。
1	鍋料理	職員と利用者が協力して作った鍋料理を楽しみました。 (みぞれ・鶏肉団子・すいとん)
2	節分	豆まきやゲームレクを通して1年の災厄をはらいました。
3	外出行事 パサール三芳	今話題の関越道・三芳パーキング内を散策しました。お寿司などの食事をした後、地の野菜や人気のお土産を購入しました。

ヘルパーステーション

重点目標及び課題	成果等																																																																														
<p>(1) 稼働率の維持・向上のための取り組み</p>	<p>① 3月末時点での月の延べ回数が平均210日となり、年度末時点で月200回以上の目標を達成することができましたが、11月から利用者の入退院の繰り返しが多く一時期、利用回数が低迷した時期もありました。新規の申し込みと現利用者の利用回数が1月から3月にかけて増加したことで最終的に目標達成が出来たと思われます。</p> <div data-bbox="504 584 1214 1003"> <table border="1"> <caption>実員・新規・中止の月別推移</caption> <thead> <tr> <th>月</th> <th>実員</th> <th>新規</th> <th>中止</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>4月</td><td>25</td><td>0</td><td>0</td></tr> <tr><td>5月</td><td>26</td><td>1</td><td>0</td></tr> <tr><td>6月</td><td>28</td><td>3</td><td>2</td></tr> <tr><td>7月</td><td>27</td><td>0</td><td>1</td></tr> <tr><td>8月</td><td>27</td><td>2</td><td>1</td></tr> <tr><td>9月</td><td>32</td><td>4</td><td>0</td></tr> <tr><td>10月</td><td>31</td><td>0</td><td>1</td></tr> <tr><td>11月</td><td>31</td><td>0</td><td>1</td></tr> <tr><td>12月</td><td>30</td><td>0</td><td>1</td></tr> <tr><td>1月</td><td>28</td><td>0</td><td>2</td></tr> <tr><td>2月</td><td>28</td><td>2</td><td>1</td></tr> <tr><td>3月</td><td>27</td><td>0</td><td>1</td></tr> </tbody> </table> </div> <div data-bbox="504 1061 1214 1480"> <table border="1"> <caption>延べ回数</caption> <thead> <tr> <th>月</th> <th>延べ回数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>4月</td><td>210</td></tr> <tr><td>5月</td><td>235</td></tr> <tr><td>6月</td><td>200</td></tr> <tr><td>7月</td><td>235</td></tr> <tr><td>8月</td><td>210</td></tr> <tr><td>9月</td><td>230</td></tr> <tr><td>10月</td><td>245</td></tr> <tr><td>11月</td><td>220</td></tr> <tr><td>12月</td><td>200</td></tr> <tr><td>1月</td><td>185</td></tr> <tr><td>2月</td><td>175</td></tr> <tr><td>3月</td><td>205</td></tr> </tbody> </table> </div> <p>② 毎月の実績報告はほぼ事業所に持参し、報告・相談も連携をとって行ないました。他事業所からの新規依頼は4名という結果だったので引き続き、他事業所へ信頼獲得を継続する必要があると思われます。</p> <p>③ 利用者のニーズに合わせたケアプランを作成し、実行しています。また実施記録にも利用者の様子やサービス状況が家族にも分かりやすいように記入しています。</p> <p>④ プレゼントを渡す訪問介護事業所はあまりないので、居宅事業所から良い反応の声が聞かれました。事業所の特色として毎年実施していきたいと思ひます。</p>	月	実員	新規	中止	4月	25	0	0	5月	26	1	0	6月	28	3	2	7月	27	0	1	8月	27	2	1	9月	32	4	0	10月	31	0	1	11月	31	0	1	12月	30	0	1	1月	28	0	2	2月	28	2	1	3月	27	0	1	月	延べ回数	4月	210	5月	235	6月	200	7月	235	8月	210	9月	230	10月	245	11月	220	12月	200	1月	185	2月	175	3月	205
月	実員	新規	中止																																																																												
4月	25	0	0																																																																												
5月	26	1	0																																																																												
6月	28	3	2																																																																												
7月	27	0	1																																																																												
8月	27	2	1																																																																												
9月	32	4	0																																																																												
10月	31	0	1																																																																												
11月	31	0	1																																																																												
12月	30	0	1																																																																												
1月	28	0	2																																																																												
2月	28	2	1																																																																												
3月	27	0	1																																																																												
月	延べ回数																																																																														
4月	210																																																																														
5月	235																																																																														
6月	200																																																																														
7月	235																																																																														
8月	210																																																																														
9月	230																																																																														
10月	245																																																																														
11月	220																																																																														
12月	200																																																																														
1月	185																																																																														
2月	175																																																																														
3月	205																																																																														

<p>(2) 苦情・相談対応</p>	<p>① 利用者からの要望や意見は早期に対応し、可能な範囲で納得頂けるサービスを提供できる様にしました。また、職員間での情報共有を密に行い、サービスに差異が出ないように今後も努めていきます。</p> <p>② 訪問時の体調確認・様子観察と共に利用者の心身の状態に合わせた対応を臨機応変に行うよう努めました。</p> <p>③ 利用者宅に訪問する時はサービス内容をしっかり把握した上で実行し、コミュニケーションを図りながら信頼関係を早く構築出来るようにしています。</p> <p>④ 月1回のモニタリング報告と共に必要時はケアマネージャーや家族への報告を迅速に行うように努めました。</p>
<p>(3) 職員の資質向上の取り組み</p>	<p>① 月1回のヘルパー会議の中で事例を出しながら勉強し、かつ個別で介護技術や円滑なコミュニケーションスキルについても互いに研鑽しています。</p> <p>② 外部研修に各自1回ずつ、参加することが出来ました。</p>
<p>(4) リスクマネジメントの重要性</p>	<p>① 身体介護について必要な技術や情報を繰り返し、職員間にて練習を行なった結果、特に事故もなくサービス提供することが出来ました。</p> <p>② 事故につながる可能性が高いリスクについては指示書・申し送りノート・指示書等に必ず記載し、引継ぎの際にも確認を行い予防に努めました。</p>

居宅介護支援事業

重点目標及び課題	成果等
<p>(1) 稼働率の維持・向上のための取り組み</p>	<p>① 年間平均プラン作成率は96.8%と目標の88%を大幅に上回ることができました。事業所全体の上限数を常に確認し、上限いっぱいのところまで新規を受け入れました。また、予防プランの枠を空いたままにせず、常に使用したことがプラン作成率向上につながったと考えます。</p> <p>② 圏域会議・地域ケア会議等できる限り出席しました。新しい情報等を取得し、ケアマネジメントや法令順守に沿った帳票類の整備等にも反映できました。社会資源についても、既存のインフォーマルサービスをケアプランに盛り込むように努めました。</p> <p>③ 事例検討について月1回開催できるように取り組みました。ある案件について、デイサービス定着が課題の方のケース検討を行い、結果として継続して利用している現状があります。</p> <p>④ 居宅ケアプランに特化した研修は参加できませんでした。しかし、認知症高齢者のアセスメント技法を学ぶ研修に1名参加しています。</p>

<p>(2) 事業所内の連携</p>	<p>⑤ 市のケアプラン実地指導が11月にあり、ケアプランを作成する上での指摘事項（軽微の変更について支援経過記録に残す等）を受けた以降のプラン作成に活かしています。</p> <p>① 従来型の介護サービス重視・利用することで目的が達成してしまう内容のプラン・ケアマネジメントになっていました。26年度について、自立支援型ケアプラン作成における研修へ参加等の取り組みが課題として残っています。</p> <p>② 緊急時対応の取り組みの1つとして、事前に可能性の高い案件の事業所内での周知・連絡経路の再確認を行いました。</p> <p>③ 支援会議やケース検討会で、各担当案件の情報を報告・共有して把握できるように努めました。</p>
<p>(3) 相談・苦情の援助体制</p>	<p>① 利用者・家族からの相談・苦情については、延滞することが問題を複雑・困難にしてしまうことと考え、迅速に対応することを第一に職員全体で意識することに努めました。</p> <p>② 他事業所（介護サービス事業所）についての苦情・相談は、支援経過・専用の書式に残し、自事業所については、法人全体の苦情受付簿に記録として残すことができました。</p>
<p>(4) 従業員の育成</p>	<p>① 職員1名、新任者向け基礎研修を受講しています。</p> <p>② 介護予防ケアマネジメント研修に2名参加し、予防ケアプラン作成・ケアマネジメントのスキルアップの向上に努めました。</p> <p>③ 月刊ケアマネジャーを定期購読し、業務に活かせるように努めました。</p>

地域包括支援センター

重点目標及び課題	成果等																						
(1) 介護予防事業対象者に対する介護予防マネジメント	<p>① 予防給付の対象者へのケアプランの作成・支援</p> <ul style="list-style-type: none"> 介護予防支援利用者の支援充実を図るため平成 24 年 9 月にプランナーを配置しましたが、平成 25 年 7 月に人事異動となり、その後は、専門職 3 名での介護予防支援のケアプラン作成の継続を行いました。 年度初めに利用者数 60 人（前年度 53 人）、年度末に 65 人（前年度 62 人）。月平均 61.2 人（前年度 60.8 人）と増加につなげました。 介護予防支援を委託した事業所は、年度末現在 11 事業所でした。 <p>介護予防支援利用者 () 内は前年度比</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>介護予防支援</th> <th>自プラン</th> <th>委託</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>年間延べ人数</td> <td>415(+69)</td> <td>320(-3)</td> <td>735 (+66)人</td> </tr> <tr> <td>月平均実人員</td> <td>34.5 (+5.7)</td> <td>26.6 (-0.3)</td> <td>61.2(+5.5)人</td> </tr> <tr> <td>年間新規利用者</td> <td>22 (+5)</td> <td>12 (+2)</td> <td>34 (+7) 人</td> </tr> </tbody> </table>	介護予防支援	自プラン	委託	合計	年間延べ人数	415(+69)	320(-3)	735 (+66)人	月平均実人員	34.5 (+5.7)	26.6 (-0.3)	61.2(+5.5)人	年間新規利用者	22 (+5)	12 (+2)	34 (+7) 人						
	介護予防支援	自プラン	委託	合計																			
年間延べ人数	415(+69)	320(-3)	735 (+66)人																				
月平均実人員	34.5 (+5.7)	26.6 (-0.3)	61.2(+5.5)人																				
年間新規利用者	22 (+5)	12 (+2)	34 (+7) 人																				
(2) 総合相談・支援事業	<p>② 二次予防事業対象者の把握・支援</p> <ul style="list-style-type: none"> 基本チェックリストで二次予防事業の対象者となった高齢者へは電話や訪問を実施し、参加の意思を確認し介護予防事業所につなぎ修了まで支援しました。アセスメントと評価実施数は、前年度計述べ人数 5 人を上回りました。 <table border="1"> <thead> <tr> <th>二次予防事業実施者</th> <th colspan="2">実施内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">増進センターいきいき教室</td> <td>1</td> <td>アセスメント及び評価を実施</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>評価のみ実施</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>アセスメントのみ実施</td> </tr> <tr> <td>カーブス（イオン大井店）</td> <td>1</td> <td>アセスメント及び評価を実施</td> </tr> <tr> <td>鍼灸師会（十全堂）</td> <td>1</td> <td>アセスメント実施</td> </tr> <tr> <td>いきいき元気塾（えぶりわん）</td> <td>1</td> <td>アセスメント及び評価を実施</td> </tr> <tr> <td>計（述べ人数）</td> <td colspan="2">10 人</td> </tr> </tbody> </table>	二次予防事業実施者	実施内容		増進センターいきいき教室	1	アセスメント及び評価を実施	3	評価のみ実施	3	アセスメントのみ実施	カーブス（イオン大井店）	1	アセスメント及び評価を実施	鍼灸師会（十全堂）	1	アセスメント実施	いきいき元気塾（えぶりわん）	1	アセスメント及び評価を実施	計（述べ人数）	10 人	
	二次予防事業実施者	実施内容																					
増進センターいきいき教室	1	アセスメント及び評価を実施																					
	3	評価のみ実施																					
	3	アセスメントのみ実施																					
カーブス（イオン大井店）	1	アセスメント及び評価を実施																					
鍼灸師会（十全堂）	1	アセスメント実施																					
いきいき元気塾（えぶりわん）	1	アセスメント及び評価を実施																					
計（述べ人数）	10 人																						
	<p>① 相談への対応</p> <ul style="list-style-type: none"> 地域で見守り支援をしている民生委員や関係機関からの相談は、年間 1000 件を超えています。対応は早期に実施し、相談者へは支援経過や結果報告を必ず報告し協力連携を仰いでいます。ただ、専門職の知識や技術を生かし支援しても、周囲から見ると解決に至ってないと思われるケースもあり、粘り強く継続支援し、関係者と連携協力しています。 																						

- ・平成 25 年度年間相談件数は、延べ 2255 件（実人数 846 人）。

② 高齢者の実態把握 201 件

- ・新たな業務として、富士見市が作成した圏域別・地区別の要援護者台帳（緊急時連絡カード配布の一人暮らし高齢者）から、民生委員がカードを配布できなかった高齢者 89 名の訪問確認依頼がありました。ただ、何度訪問しても会えず、生活実態が一人暮らしでない場合等もあり高齢者福祉課の報告し、併せて高齢者実態把握も実施しました。
- ・一般高齢者名簿（一人暮らし及び高齢者世帯）からの実態把握訪問は、積極的に出前講座や介護者教室の依頼を受けた結果、限られた勤務日数の中では、前年度の 238 件を下回りました。今後は業務の効率化やバランスが課題です。

③ 地域支援とネットワーク構築

- ・市の事業である高齢者見守りネットワークは、今年度も第 1 圏域で開催する地域ケア会議と連動させ、地域に広げ機能化させることを目的にしました。第一圏域の担当地区は、広域で地域特性が多様なため、地域を特定し賛同機関のマップ作成を完成させました。高齢者の地域での見守りやネットワーク構築の重要性を分かりやすく漫画で解説し、地域で活用できるよう関係機関に配布し啓発しました。
- ・情報交換会、各種講座・教室、会議をはじめ、地域の高齢者や家族を支えるために企画・開催し、ネットワークの拡大や連携強化を図りました。

実施項目	実施回数	実施内容
地域ケア会議	年 3 回開催	4 月、6 月、8 月
情報・意見交換会 他機関会議出席 等	年 11 回実施	5 月 勝瀬地区民生委員協議会 ふじみ野交流センター利用者懇談会 6 月 水谷・南畑地区民生委員協議会 介護予防事業検討会 8 月 ふれあいサロンミニサミット 9 月 勝瀬地区民生委員協議会 11 月 成年後見実務者会 12 月 介護予防事業検討会 1 月 ふじみ野交流センター利用者懇談会 医療と福祉連携会議

		医療と包括の意見交換会
認知症サポート 一養成講座	年1回実施	12月 南畑第5町会（39名）
介護者教室	年9回開催 *「健康講座」 を南畑地区 社協と連携 開催	6月 勝瀬地区社協高齢者部 会と一般の方（16名） 10月 南畑若松会（40名） 12月 渡戸3丁目町会（58名） 1月 南畑第1町会（33名） 南畑第2町会（23名） 南畑第4町会（18名） 2月 南畑第3町会（20名） 南畑第5町会（44名） 3月 ころばんクラブ（18名）

④ 出前相談会・出前講座等の実施

- ・出前相談会は、地区行事では恒例となり、実行委員会から関わり、顔なじみとなった地域の方から講座の依頼にもつながりました。
- ・地域の要望に応え、定着化を図っていくことでは、南畑地区社会福祉協議会と連携した「健康講座（介護者教室）」は、前年度に引き続き南畑全町会で行うことができました。地域で顔を知ってもらうことで、気軽に相談に結びつき、深刻な事態を避けることができた事例もありました。
- ・介護者教室は、9回実施し述べ270名の参加がありました。出前講座は、8回実施し述べ408名の参加がありました。出前相談会は、3回（計5日間）実施し、血圧・握力測定等で234名、相談20件と健康意識の啓発につなげました。

実施項目	実施回数	実施内容
出前講座	年8回実施 [内容] 介護予防 介護保険制度 地域包括の話 認知症の予防 消費者被害 交通安全 季節の健康等	4月 ふれあいサロンひろば（渡戸） 渡戸3丁目ふれあいサロン 5月 勝瀬地区社協総会 9月 渡戸東地区敬老会 10月 アイムふじみ野熟年の会茶話会 渡戸ふれあいサロン 2月 ふじみ野ふれあいサロン 羽沢丁目ふれあいサロン

(3) 権利擁護業務

出前相談会	年5日間実施	9月 勝瀬 de 縁日(1日) 3月 ふじみ野文化祭(2日) 南畑ふるさとまつり(2日)
-------	--------	--

- ① 高齢者虐待への対応
 - ・虐待の相談は昨年度に比べ微増しています。市が虐待として扱うか判断していく中で、虐待ではなく、不適切な介護が疑われ、虐待へと発展しかねないケースへは、定期訪問やケアマネジャーからの支援経過を把握し、深刻な事態にならないよう支援しました。
- ② 消費者被害防止
 - ・市の消費者相談室との連携を行い、被害高齢者のその後の支援も実施しました。サロンでの出前講座、相談会などで、分かりやすく被害状況について話をし周知・啓発を行いました。
- ③ 成年後見制度
 - ・昨年度は、後見申し立てや相談が多く、一昨年度より激増しましたが、今年度は平年並みとなりました。成年後見制度利用促進へは、出前相談会等での周知活動や、訪問相談を行い啓発に努めています。

権利擁護に関わる相談

区分	実人数	延人数
成年後見	7	29
消費者被害	9	37
虐待	20	192
計	36	258人

(4) 包括的・継続的マネジメント事業

- ① ケアマネジャーへの支援
 - ・困難ケースへ支援や助言・指導は、精神的な支援も図りながら具体的に解決への後方支援を行いました。
- ② ネットワークづくりの推進と強化
 - ・地域ケア研修会や圏域会議は、自圏域だけでなく、他圏域また市外の居宅事業所からも参加があり、ネットワークの構築へつなげました。

圏域会議	年2回開催	5月 むさしの主催 「障害者総合支援法」 12月 合同開催 「保健所との関わり方」
地域ケア研修会	年2回開催	8月 むさしの主催

(5) 地域への貢献				<p>「弁護士による成年後見の視点」 11月 合同開催 「認知症ケアマネジメント」</p>																								
	<p>③ケアマネジャーへのケース紹介・斡旋</p> <ul style="list-style-type: none"> 相談ケースの斡旋・紹介へは、包括支援センターの公平性を念頭に行いました。ケース内容や、相談者からの意向もあり法人内連携も行いましたが、ケアマネジャーの持ち人数に制限があり、他事業所への紹介・斡旋が増えました。 																											
	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 25%;">居宅介護支援事業所</th> <th style="width: 25%;">要介護・要支援</th> <th style="width: 25%;">前年度</th> <th style="width: 25%;">前年度比</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>支援センターむさしのへ</td> <td>22</td> <td>30</td> <td>-8</td> </tr> <tr> <td>ひだまりの庭（小規模）</td> <td>3</td> <td>—</td> <td>+3</td> </tr> <tr> <td>ひだまりの庭（居宅）</td> <td>1</td> <td>—</td> <td>+1</td> </tr> <tr> <td>他の事業所（7事業所）へ</td> <td>60</td> <td>32</td> <td>+28</td> </tr> <tr> <td>計10事業所</td> <td>86</td> <td>62</td> <td>+24</td> </tr> </tbody> </table>				居宅介護支援事業所	要介護・要支援	前年度	前年度比	支援センターむさしのへ	22	30	-8	ひだまりの庭（小規模）	3	—	+3	ひだまりの庭（居宅）	1	—	+1	他の事業所（7事業所）へ	60	32	+28	計10事業所	86	62	+24
	居宅介護支援事業所	要介護・要支援	前年度	前年度比																								
支援センターむさしのへ	22	30	-8																									
ひだまりの庭（小規模）	3	—	+3																									
ひだまりの庭（居宅）	1	—	+1																									
他の事業所（7事業所）へ	60	32	+28																									
計10事業所	86	62	+24																									
<p>① 「ふれあいむさしの」の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> 「菜の花フェスタ」「ふるさとまつり」に参加計画しましたが、主催者側から天候不順で開催が中止となり実施できませんでした。 今年度も、地域の要請に応じた協力や自主的な参加で、地域包括支援センターの業務や役割を周知することに努めます。 南畑地区では、地域包括支援センターの周知度が50%を超える結果（平成24年9月に行われた市民意識調査より）となっていますが、今後も地域積極的に赴き、信頼関係を構築していきます。 																												
<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 25%;">ふれあいむさしの</td> <td style="width: 25%;">年2回開催 天候により主催者より中止決定</td> <td style="width: 50%;">4月 菜の花フェスタ2012 (出前相談会) 10月 富士見ふるさと祭 (出前相談会)</td> </tr> <tr> <td>地域行事への協力</td> <td>要請に応じ随時対応</td> <td>・文化祭、勝瀬 de 縁日、敬老会、運動会、祭り、グランドゴルフ大会、環境美化運動等</td> </tr> </table>				ふれあいむさしの	年2回開催 天候により主催者より中止決定	4月 菜の花フェスタ2012 (出前相談会) 10月 富士見ふるさと祭 (出前相談会)	地域行事への協力	要請に応じ随時対応	・文化祭、勝瀬 de 縁日、敬老会、運動会、祭り、グランドゴルフ大会、環境美化運動等																			
ふれあいむさしの	年2回開催 天候により主催者より中止決定	4月 菜の花フェスタ2012 (出前相談会) 10月 富士見ふるさと祭 (出前相談会)																										
地域行事への協力	要請に応じ随時対応	・文化祭、勝瀬 de 縁日、敬老会、運動会、祭り、グランドゴルフ大会、環境美化運動等																										

配食サービス

重点目標及び課題	成果等
<p>(1) 在宅生活を支える事業としての構築</p> <p>(2) 地域社会への配食事業の宣伝・広告</p>	<p>① 訪問介護・小規模多機能介護サービス利用時に体調観察を実施し、特変があれば家族・関係機関に報告・相談に努めました。今後、介護サービスに含まれていない利用者の場合でも、様子観察・緊急時の連絡が行えるように努めます。</p> <p>② 味等の満足度調査については、訪問時に確認しました。肉食を好まない利用者には、魚を中心としたメニューを配食するなど個々の嗜好を考慮して提供できました。</p> <p>① モニタリング訪問・サービス担当者会議の中で、少しでもニーズがあれば、配食パンフレットを使用して情報提供に努めました。1食分お試しで召し上がっていただくケースもありましたが、味や食感など好みもあり、契約までに至るケースは多くありませんでした。</p> <p>② サービス開始後での配食サービス利用のケースはありませんでした。今後も、利用者・家族のニーズと住環境等をアセスメントし必要であれば引き続き情報提供に努めます。</p> <p>③ デイ・訪問の実績配布の際、合わせてパンフレットを定期的に居宅事業所に配布しました。結果としては、ケアマネからの紹介は1件もありませんでしたが、引き続き実施していきます。</p> <p>④ 高齢者でも内容が見やすい・わかりやすいパンフレットを作成し活用することができました。</p>

地域支援課

総合目標及び課題

- ・ケアの質の向上
- ・職員間の連携の強化
- ・小規模施設の利点を生かした行事や取り組み

小規模多機能型居宅介護

重点目標及び課題	成果等																																										
(1) 稼働率の維持・向上のための取り組み	<p>① 稼働率については1月末時点では81.6%となっており、目標の73%は達成したが、下半期の新規受け入れに対し、終了となる数がほぼ同じであり、登録人数の増加には至りませんでした。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>登録人数</th> <th>利用率</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>4月</td><td>12人</td><td>80.0%</td></tr> <tr><td>5月</td><td>16人</td><td>89.5%</td></tr> <tr><td>6月</td><td>15人</td><td>100.0%</td></tr> <tr><td>7月</td><td>18人</td><td>91.6%</td></tr> <tr><td>8月</td><td>15人</td><td>82.6%</td></tr> <tr><td>9月</td><td>14人</td><td>66.3%</td></tr> <tr><td>10月</td><td>11人</td><td>60.4%</td></tr> <tr><td>11月</td><td>11人</td><td>60.8%</td></tr> <tr><td>12月</td><td>12人</td><td>65.4%</td></tr> <tr><td>1月</td><td>12人</td><td>66.7%</td></tr> <tr><td>2月</td><td>14人</td><td>73.6%</td></tr> <tr><td>3月</td><td>14人</td><td>78.0%</td></tr> <tr><td>平均</td><td>13.6人</td><td>76.2%</td></tr> </tbody> </table> <p style="text-align: center;">利用率の推移</p>		登録人数	利用率	4月	12人	80.0%	5月	16人	89.5%	6月	15人	100.0%	7月	18人	91.6%	8月	15人	82.6%	9月	14人	66.3%	10月	11人	60.4%	11月	11人	60.8%	12月	12人	65.4%	1月	12人	66.7%	2月	14人	73.6%	3月	14人	78.0%	平均	13.6人	76.2%
	登録人数	利用率																																									
4月	12人	80.0%																																									
5月	16人	89.5%																																									
6月	15人	100.0%																																									
7月	18人	91.6%																																									
8月	15人	82.6%																																									
9月	14人	66.3%																																									
10月	11人	60.4%																																									
11月	11人	60.8%																																									
12月	12人	65.4%																																									
1月	12人	66.7%																																									
2月	14人	73.6%																																									
3月	14人	78.0%																																									
平均	13.6人	76.2%																																									

<p>(2) 事業運営における利用者獲得の取り組み</p>	<p>① 市内の病院や居宅支援事業所を回っての周知活動や施設見学の際の事業の説明を実施しました。又、現在の受け入れ可能な人数を分かりやすい形で記載した案内を作成し使用した。しかし回数や活動内容とともに大幅な利用者獲得に至る成果をあげられませんでした。</p>
<p>(3) 小規模多機能の特徴を生かしたサービス提供</p>	<p>① 小規模多機能についての事業所内での研修は実施出来ませんでした。会議内では利用者ごとにサービスの内容等確認し、その方の現在の状況に合わせた支援の方法やサービスの内容の変更を行いました。特徴を生かしたサービスを個々の職員が提供するためには職員の小規模多機能という事業の理解が必要不可欠です。</p>
<p>(4) 認知症ケアの研修</p>	<p>① 職員 1 名が認知症の外部研修に参加した。しかし、参加した中で得られた知識や情報について事業所全体での共有には至りませんでした。認知症への対応については各自の経験に任せている部分が大いため、知識としての認知症への対応を身に着けることの必要性があります。</p>
<p>(5) 訪問のマニュアル作成</p>	<p>① 特に留意する点が多い方 2 名のマニュアルを作成したが、全員のマニュアル作成には至りませんでした。小規模多機能の柔軟性という利点を消す事がないよう必要最低限の内容にとどめたマニュアルの必要性があります。</p>
<p>(6) 外出への取り組み</p>	<p>① 季節ごとの行事や日帰り旅行等の実施が出来た。日帰り旅行については事業所全体の職員の体制や利用者の状況により、企画・準備・実施までの期間が短く、計画性の低いものとなってしまった。来年度は年間の予定に組み込み、担当者を決めて実施していきます。</p>

地域密着型特別養護老人ホーム

介護

重点目標及び課題	成果等
(1) ユニットケア（少人数ケア）の体制作り	<p>① 入居者個人が24時間をどのように過ごされているのか把握することができました。生活習慣に合わせ、意向や好みを尊重したケアを提供していきます。</p> <p>② 常勤・非常勤ともに必ずどこかのユニットに所属し、ユニットに分かれた勤務表を作成することができました。</p> <p>入居者の暮らしに応じた勤務時間や職員の固定配置については、現状の職員人数では困難で、今後、職員の定着化が課題です。</p>
(2) 職員のスキルアップ	<p>① ユニットケアについての内部研修を一部の職員に対して実施することができました。共通認識のもと、どの職員も同様のケアができるように内部研修を繰り返し、意識付けをしていくことが必要です。</p> <p>② 基本的介護技術の習得に関する研修は実施することが出来ませんでした。日々の業務のなかでの指導や助言のみに留まりました。</p> <p>新入職者に対しては都度、必要となる研修を受けてもらいました。介護技術向上の他、入居者体験をすることで、相手の立場に立った視点でケアを提供できるようにしていくが課題です。</p>
(3) 職員間での連携	<p>① ユニットが分かれているため、担当以外のユニット職員との関わりが少なく、連携が図りにくいという側面がありました。</p> <p>口頭や社内メールなど活用して、確実に引継ぎを実施することに努めました。</p> <p>② 情報共有は日々の記録や会議録の確認など引継ぎ事項は書面のみならずPCを用いているが、苦手な職員については引継ぎ事項の確認ができておらず、PC操作についての指導が必要です。</p> <p>また、重要な事柄についてはプリントアウトし引き継いでいきます。</p>
(4) 余暇活動への取り組み	<p>① 職員が提供できた余暇活動は限られたものであり、ボランティアに頼る部分が多くありました。</p> <p>余暇活動を提供できる職員が限定されてしまうため、マニュアルを作成し、どの職員も余暇活動への参加を促していける体制作りを行います。</p> <p>② お誕生日祝いについては、個人への聞き取りやご家族と相談の上希望に応じてその都度、実施することができました。</p>

(5) 年間の催し

	催し	内容	実施ユニット	備考
4月	花見	桜咲く大應寺への散歩	全ユニット	大應寺
5/5	端午の節句	起案していたレク実施できず 6～8日に菖蒲湯のみ実施となる	全ユニット	
5/6	端午の節句	通常の食事とは異なる行事食を楽しむ	全ユニット	
5/28	鶏めし弁当	駅弁風の食事提供 (群馬県高崎)	全ユニット	
6/16	ひだまりホーム パーティー	中庭でバーベキュー ユニットでゲーム	全ユニット	中庭 各ユニット
6/27	のり弁当	通常の食事とは異なる行事食を楽しむ	全ユニット	
7・8月	夏祭り	地区夏祭りに参加	全ユニット	
7/7	七夕	短冊に願いごとを記入 パフェ作り実施	全ユニット	
8/15	花火	駐車場にて手持ち花火を楽しむ	ひまわり	駐車場
8/16	花火	駐車場にて手持ち花火を楽しむ	こすもす	駐車場
8/23	居酒屋 むさしの	施設内で居酒屋の雰囲気を楽しむ おつまみ12種で好きなものを提供		しゃくなげ食堂
8/28	花火	駐車場にて手持ち花火を楽しむ	すいせん	駐車場
8/20	助六寿司	通常の食事とは異なる行事食を楽しむ	全ユニット	
9・10・11月	敬老会	地区敬老会に参加	全ユニット	
9/19	月見団子作り	中秋の名月にあわせ月見団子を作る	全ユニット	
10/1	1周年記念日	中庭で芋煮・秋刀魚を焼き、施設開設1周年を祝う	全ユニット	中庭
10/11	たこ焼きパーティー	間食時、出来立てのたこ焼きを提供	こすもす	
10/19	たこ焼きパーティー	間食時、出来立てのたこ焼きを提供	ひまわり	
11/5	助六寿司	通常の食事とは異なる行事食を楽しむ	全ユニット	
11/11	ピクニック	オリジナル弁当を作り外で昼食を食べる	こすもす	キラリ富士見
11/12	鍋パーティー	入居者から希望のあった蟹味噌鍋を提供	すいせん	
11/16	餃子パーティー	昼食時、出来立ての餃子を提供	ひまわり	
11/28	日帰り旅行	川越めぐりと題し日帰り旅行	ひまわり	川越
12/2	豚汁作り	入居者と買い出しに外出昼食時、豚汁を作り提供	ひまわり	

12/14	もちつき	5種類のお餅 豚汁 甘酒を提供	全ユニット	中庭
12/25	クリスマス	クリスマスケーキ作り サンタに扮して、お菓子を配布	全ユニット	
12/29	忘年会	入居者と職員一緒に忘年会を実施 餃子 玉子スープ 白菜の漬物 焼きおにぎり提供	すいせん	
1/1・2・3	初詣	お参りのため外出 お賽銭	希望者	大應寺
1/1～1/3	正月料理	お正月料理を楽しむ	全ユニット	
1/12	新年会	バイキング形式で昼食提供 職員出し物やボラマジックを鑑賞	全ユニット	コモンルーム 各ユニット
2/3	節分	鬼に扮した職員に向かって豆まきを実施	全ユニット	
2/8	お好み焼き	中庭にてお好み焼きを焼く	全ユニット	中庭
2/17	ミニケーキ作り	バレンタイン行事としてケーキ作り実施 トッピングをする	こすもす	
2/28	お好み焼きパーティー	焼きたてのお好み焼きを提供	ひまわり	
3/3	ひな祭り	雛壇の鑑賞 桜餅作りの実施	全ユニット	
3/26	すき焼きパーティー	入居者から希望のあったすき焼きを実施	すいせん	

看護

重点目標及び課題	成果等
(1) 外部研修参加による 情報収集	① 看取りや摂食・嚥下についての研修に参加した。研修で得た内容を看護で共有し、施設内でできることを検討しました。
(2) 個別の看護問題の確 立	① 個人個人の看護サマリーを作成し、緊急時の情報提供や受診の際に即座に対応できるよう体制作りを行いました。
(3) 入職時の医務研修の 実施	① 開設直後の移行行えていなかった医務研修を実施。その後、新しく入職した職員に対しても血圧測定・吸引・酸素吸入などの医務的な技術や緊急時の対応について研修を実施しました。
(4) マニュアルの作成 立	① 夜勤中の看護師不在の時間帯に介護職員が安心して対応できるよう熱発や転倒など基本的な5項目についてフロチャート式のマニュアルを作成しました。

相談

重点目標及び課題	成果等
(1) 稼働率の維持・向上 のための取り組み	<p>① 特養の年間の稼働率は97.5%の目標を上回り、98.8%で要因は入院者がいる場合は入院先に面会し、現状確認やスムーズな退院調整が出来るように取り組んだことが成果に繋がったと考えられます。年度の入院者は延べ8名で空床期間は102日間。(空床期間のショートステイ利用の実績は1名で合計6日の利用)。もう一つは退所者が一人もなく経過した結果の表れで、今後は空床期間の活用(運営)をどのようにしていくかが課題となります。入院ベッドを上手くショートステイで利用してもらうための取り組みとして事業所への情報提供(空床案内)などを実施していきます。</p> <p>② 入所申込は優先入所指針を使用して申込者名簿を作成しました。名簿をもとに入所判定委員会を開催し、入所の順位付けなどを実施しました。委員会は2、3月に開催し、構成員には各職種と地域代表で民生委員2名に参加していただきました。委員会終了後には結果についてご家族へ通知を行いました。</p>

(2)社会資源を活用した
支援

① 資源の活用としてボランティアの受入に重点をおき取り組みました。受入の為に「ボランティア受入マニュアル」を作成し、申込書の作成や活動後の報告書の記入などで活動者・活動内容を明確にしました。また、安心して施設での活動が出来るようにボランティア活動保険の加入を勧め、未加入者の手続きは職員が代行しました。結果、新規ボランティアとして個人2名・3つの団体の受入をすることが出来ました。また、3月2日(日)に本体施設と合同で「ボランティア感謝の集い」を開催し、日頃お世話になっているボランティアの皆さんを招き、職員と一緒に会食したりして交流をはかることが出来ました。

<平成 25 年度 ボランティア活動 回数・延べ人数>

クラブ名	活動回数(回)	延べ人数(名)
生活支援 島貫氏	44回	44名
邑水会(民謡)	10回	46名
お茶クラブ	6回	23名
ひまわり(フラダンス)	4回	35名
うづき会(民謡)	5回	43名
かっぼれ(民謡)	6回	31名
花クラブ	4回	8名
傾聴ボランティア ※新規	38回	49名
外出付き添い ※新規	3回	4名
花咲歌謡ショー ※新規	1回	2名
たかよし会(民謡) ※新規	1回	5名
朝霞マジック ※新規	1回	3名
生活支援 黒田氏 ※新規	10回	10名
ハーモニカクラブ ※新規	2回	18名
合計	135回	321名

(3) 連絡・調整業務	<p>① ご家族へは体調に関する内容は出来るだけ早く連絡し、面会があれば近況報告が出来るようにして情報の共有(状態把握)が出来るように努めました。また、連絡した際は介護情報システムを使用して記録を残しました。ご家族からの要望は出来るだけ速やかに実施出来るように努めました。年末には本人より希望のあった自宅への一時外泊を実現する為に自宅まで行き、生活環境の確認やご家族の不安を確認したことで結果、希望通りに実現することが出来ました。今後も希望があれば実現出来るように実施していきます。</p>
-------------	---

リハビリ

重点目標及び課題	成果等
(1) 個別プログラムの作成	<p>① リハビリ希望される利用者の意見を聞き、目標を持ちリハビリに取り組めるようにプログラムを作成しました。また、日常生活動作等を職員から聞きプログラムに反映させました。</p>
(2) 生活リハビリの充実	<p>① 介護職員の介助のもとで、継続して行えるプログラムを作成しました。介護職員がこまめに声かけをし、継続したリハビリが行えました。</p> <p>② ①の内容を図や説明では記さなかったが、記録や計画書を確認して介護職員が実施できました。</p> <p>③ 介護職員が日々のリハビリの経過を詳細に記録したことにより、利用者の様子が確認でき、週1回のリハビリがスムーズに実施できました介護職員が日々のリハビリの経過を詳細に記録したことにより、利用者の様子が確認でき、週1回のリハビリがスムーズに実施できました。</p>
(3) 按摩・指圧・マッサージの楽しみ	<p>① 希望された利用者にはマッサージが終了した時点で次回の約束を入れ、継続して行うことができました。</p>

委員会

サービス向上委員会

重点目標及び課題	成果等
(1) 食事・入浴マニュアルの作成	<p>① 入浴マニュアルを作成することが出来ました。入浴の準備から清掃までの手順を写真付で作成し、誰がやっても統一した対応ができるよう浴室に掲示しました。食事マニュアルは来年度、委員会で話し合いどのようなマニュアルを作成するか検討していきます。</p>
(2) 食事前の口腔体操の実施を行う	<p>① 口腔体操については特養では実施出来ませんでした。(小規模では実施) 昼食前、口腔体操をする時間が取れませんでした。今後は時間を作り体操を行っていきます。</p>

衛生委員会

重点目標及び課題	成果等
(1) 感染が発生した際、マニュアルにそって対処ができる	<ul style="list-style-type: none"> ① 実際に一度研修を行って参加した職員との意見を交えながらマニュアル作成に取り組みました。参加した職員のなかには対応方法を知らない職員もいたため職員感染への意識を高める事が出来ました。 ② 対処の方法が職員間で対処方法の違いがある為、職員が統一した対処をするマニュアルの作成が必要です。 ③ 従来のマニュアルは職員に配布し、意識付けという意味では成果はあったが、ひだまりの庭としてのマニュアルを委員会内でまとめることが出来ず感染症時期が過ぎてしまいました。
(2) 出勤時に職員の健康管理チェックを行う	<ul style="list-style-type: none"> ① 検温を忘れた職員には注意を促しました。また、新人職員にも検温の説明をし周知を図りました。職員皆が、健康管理に努められるよう今後も継続していきます。
(3) 手すり部分のアルコール消毒の実施	<ul style="list-style-type: none"> ① 1日2回の手すり消毒を実施しました。手すりの消毒を毎日行うなかで職員の中で習慣化することができました。 ② 手すりは入居者が日頃触れる部分が多い為、手すり部分の消毒実施を行うことだけでも、感染症の予防の十分な効果が見られました。

安全委員会

重点目標及び課題	成果等
(1) 離床センサー・マット使用の利用者の確認	<ul style="list-style-type: none"> ① 離床センサー・マット使用者リストを作成し、利用者の確認が出来るようにしました。利用者の容体等によって、一時的に離床センサー・マットを移動したりする場合も逐次反映するのか、定期的に確認するのか等の決まりがないという問題点があったため、安全委員の中で統一していきます。引き続き安全委員開催時に確認と更新を行っていきます。
(2) ヒヤリハット報告の有効活用	<ul style="list-style-type: none"> ① ヒヤリハットを記入する方法については手順書作成や口頭での作成方法の指導等で浸透したが、PC上で職員がそれぞれ確認するため、ホームページの改変などもあり職員間で確認に隔たりができてしまっていることが問題として挙げられます。安全委員の会議ごとに月の集計を行っているので、その集計シートを引継ぎノートに入れるなど、ヒヤリハットの確認方法を多様化し、確認しやすくする必要があります。また、ヒヤリハット報告だけでなく、痣・怪我などについても職員間での共有が必要です。

整容委員会

重点目標及び課題	成果等
(1) 車椅子の清掃	<ul style="list-style-type: none"> ① 車椅子清掃においては2ヶ月に一回程度しか行えませんでした。 ② 行事等の前にしか掃除していない為、定期的に掃除という事が出来ませんでした。 ③ 定期的に行うことで清潔が保てるので2か月に一回居室担当者が行うようしていきます。
(2) リネン庫の清掃、物品発注	<ul style="list-style-type: none"> ① リネン庫の掃除に関しては整容委員が分担し行っていたため、引き続き続けていきます。 ② 物品発注に関してはノートを作成することで不足を事前に防ぐ事が出来ました。
(3) ベットマット、枕交換の周知	<ul style="list-style-type: none"> ① ベットマット、枕交換の周知に関して交換は1週間の間に行えたが、先週交換した日より数日しか経過していない日に交換していたことが見られた。引継ぎノート等で周知し職員に伝えていきます。 ② 失禁などでシーツ、包布を交換した際はリネン表に記入をします。防水シーツが汚れた場合、交換した際はリネン表に記入しなくてよい等記入の方法を統一し引継ぎノートにて職員に周知していきます。

排泄委員会

重点目標及び課題	成果等
(1) パットの必要性・当て方	<ul style="list-style-type: none"> ① パットの必要性に関しては、年2回の尿側にて個々の排泄パターンやアイテムを知る事が出来ました。ひだまりでの排泄ケアの取り組みや人にとっての排泄の仕組み・当て方の研修を考えていたが実施出来ませんでした。業者アドバイザーと連携を取り定期的な研修（排泄とは？・褥瘡について等）やひだまりの庭での排泄ケア研修の実施し周知していきます。
(2) オムツ・パット類の整理整頓・発注	<ul style="list-style-type: none"> ① オムツ・パット類の整理整頓表を作成しチェックしながら実施出来ました。発注に関しては、発注時の在庫数を管理し無駄の無い様必要な個数を把握し発注出来るよう在庫表を作成したが、パットの使用方法の周知が出来ていない、居室に置いているパットまでの在庫まで管理出来ないなど管理表を上手く活用出来ず不足してしまう事がありました。今後、1日に使用するパットを居室に補充し在庫室だけで在庫管理が出来るようにしていくと共にパットの使用方法の周知を研修の中で周知して行きます。

栄養課

総合目標及び課題

- ・利用者本位の食事提供の実施
- ・豊かな食生活の提供

重点目標及び課題	成果等
(1) 品質の向上	<p>① 栄養課一丸となり「はかる（量、測、計）」ことができるように努力を重ねてきた結果、安定した品質の食事を提供できるようになり、一定の効果を上げることができたように感じます。</p> <p>② 盛り付けについては、調理時に崩れてしまっていることが多々ありました。改善が必要な点があります。</p> <p>③ 食品衛生に留意し、食中毒を起こすことなく食餌を提供することができました。</p> <p>④ 上記①の結果、固化して提供する食品（ゼリー類やソフト食）の出来上がりの硬さのばらつきが少なくなりました。</p>
(2) 咀嚼・嚥下機能に配慮した食事の提供	<p>① 真空調理法を生かした調理を行ってきましたが、肉類が軟らか過ぎてぼろぼろになってしまったことがありますので、今後改善していきます。</p> <p>② 凍結含浸法を用いた食材の軟化処理を行い、料理を提供してまいりました。改善点もあり、最良の状態の物を安定して提供するには至りませんでした。引き続き、良いものを提供できるよう努力していきます。</p>
(3) 行事食を充実する	<p>以下のような行事食を年間通して実施しました。</p> <p>4月26日 寿司</p> <p>5月6日 端午の節句（江戸前ちらしずし）</p> <p>5月28日 鶏めし弁当</p> <p>6月12日 握り寿司3貫、稲荷寿司2個</p> <p>6月27日 のり弁当</p> <p>7月8日 七夕行事食</p> <p>7月27日 納涼祭</p> <p>8月20日 助六弁当</p> <p>9月5日 寿司</p> <p>9月14日 長寿を祝う会</p> <p>9月18日 月見団子作り（本体）</p> <p>9月19日 月見団子作り（ひだまり）</p> <p>10月1日 いも煮会（ひだまり）</p> <p>10月7日 いも煮会（本体2階）</p> <p>10月8日 いも煮会（本体3階）</p> <p>10月23日 寿司</p> <p>11月5日 助六弁当</p> <p>11月19日～29日 鍋行事</p> <p>12月12日 寿司</p> <p>12月15日 もちつき会</p>

<p>(4) 栄養ケア・個別対応の実施</p>	<p>12月25日 クリスマス 1月3ヶ日 正月料理 1月11日 新年会 2月3日 節分行事食 2月7日 お好み焼き（本体） 2月8日 お好み焼き（ひだまり） 2月25日 寿司 3月3日 ひな祭り 3月18日 寿司</p> <p>① 栄養管理を一年続けてきました。比較的栄養状態を良好に保てたのではないかと思います。</p> <p>② 各個人の状態および嗜好に合わせた食事の提供を行いました。</p>
-------------------------	--